

石造物調査

凡 例

一、写真等で詳しく説明したものは、石造物地区別一覧表の番号欄に*印と番号をゴチックで表示した。
一、詳細説明の①～⑤については、

① 石造物の所在地

② 年 紀 銘

③ 大 小 銘

④ 刻 文 銘 碑文（碑文の上の算用数字は石造物地区別一覧表の番号）

⑤ 説 明

を表示した。

一、碑文の脱字や判読不明文字は、□や○で表示した。

一、石造物等の位置については、上巻の付図に地図番号で表示した。

国分の石造物

*はじめに

国分は本県で最も早く開けたところから、興味ある歴史的遺産が随所に残されており秘められた地域ともいえる。石で造られ苔むしたものに何となく安らぎを感じるのは我々の共通する感性であり、石塔はその一片を将来へと語り継ぐ貴重な文化遺産である。一方、テクノポリスに象徴される国分の急成長の陰で、路傍の石はどんな闇に葬られ姿を消しているのも国分の一断面であろう。この機会に、今日まで奇跡的に残されてきたいろいろな石造物を記録保存して後世に残そうという企画である。

ここでは第一章に総一覧表、第二章は代表的なものをピックアップして地区別に写真、イラスト、拓本などを整理して写真性を高めた。下巻では種類別に概略を述べる。

石造物総一覧表及び地区別の写真など

1	重久	17	湊
2	川原	18	上井
3	木原	19	川内
4	本戸	20	下井
5	郡田	21	敷根
6	台明寺	22	上之段
7	清水	23	塚脇
8	中央		
9	向花・府中		
10	新町		
11	姫城		
12	上小川		
13	野口		
14	松木		
15	福島		
16	広瀬		

番号	所在地	備考	地図番号
1	岩田墓地	本田どんのかくし墓	1
* 2	念仏寺跡墓地		
* 3	〃		
* 4	〃		
* 5	〃		
* 6	〃		2
* 7	〃		
* 8	〃		
* 9	〃	梵字ア音	
* 10	〃 (石垣中)		
11	白落墓地 (舞鶴園北)	本田家墓地	11
* 12	念仏寺跡墓地 北側		2
* 13	剣之字都町91 (剣之字都) 児玉実光宅奥		13
* 14	吉祥院跡	吉祥院住職	14
* 15	本田家墓地 (舞鶴園北)		11
* 16	入戸 (川畑家墓碑後)	税所氏の墓	16
* 17	〃 〃	〃	
* 18	龍尾ヶ岡墓地	タツチョ墓群	18
19	吉祥院跡		
20	〃		14
21	〃		
22	〃		
* 23	妻屋, 岩田墓地		1
* 24	重久 698 (道場口) 鶴丸輝夫宅		24
* 25	慈恩寺跡	雲峯山慈恩寺正観音	11
* 26	剣之字都町165—5 (剣之字都) 小川秀昭宅奥	約100m奥の山腹	26
* 27	重久 59 (岩戸) 本田チヨ宅		27
28	乗林寺跡墓地入口		28
* 29	念仏寺跡墓地		2

石造物地区別一覧表（重久地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
1	五 輪 塔		1	慶長十七年壬子 九月廿六日
* 2	//	念佛寺九代	1	
* 3	//	念佛寺	1	永禄□□四月
* 4	//	念佛寺七代	1	天文八年十二月十七日
* 5	//	念佛寺六代住持	1	永正八年辛未 十一月六日
* 6	//	念佛寺第四代	1	應永三十二年 正月十九日
* 7	//	念佛寺二代 七ヶ年忌辰	1	至徳五年正月廿九日
* 8	//	御周忌遊行□他阿弥陀佛	1	文和四年八月廿日願主
* 9	//		1	
* 10	//	七ヶ年忌辰 孝子敬白（残欠）	1	應安三年五月廿四日
11	//		多数	
* 12	//	念仏寺石塔群（やぐら型）	6	
* 13	//	石塔群	17	
* 14	//	法印覺遍逆修（地輪残欠）	1	慶長十年十月吉日
* 15	//	節慶田忠大禪伯	1	
* 16	宝 塔		1	
* 17	層 塔		1	
* 18	無 縫 塔	法印 覺音大和尚位	1	享和二癸亥年閏 正月廿八日寂
19	//	法印 盛恭 當寺三十一世深昌房	1	天保六乙未年 八月十二日
20	//	吉祥院廿三世珪巖	1	寛保二壬戌年五月朔日 加治木弟子相中
21	//	大法師 義運	1	宝暦四年甲戌五月九日
22	供 養 塔	二連供養塔	1	
* 23	石 仏	座像（首なし） 奉建立 女相中	1	
* 24	//	座像	1	
* 25	//	活岩竜祝	1	天明二年壬寅 二月二十八日
* 26	板 碑	十三仏、開山吉祥院 他	13	永正十一年甲戌二月 彼岸
* 27	石 仏	庚申地藏？（背上部を欠く）	1	
28	//	如来座像（首なし・覺遍銘） （覺遍銘は現在確認できない）	1	
* 29	角柱塔姿	南無阿彌陀佛 三十三 香阿	1	建徳二、七、廿七

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 30	念仏寺跡墓地		2
31	重久 204 (岩戸) 本田喜與子宅		31
* 32	剣之字都町 3—2 (剣之字都) 友の湯温泉前		32
* 33	重久公民館		33
34	入戸バス停 (谷側) すぐ裏	用水路用	—34
35	〃	自家発電所用	
36	止上神社		36
* 37	道場口公民館		37
* 38	止上神社		—36
* 39	〃		
40	剣之字都公民館向		40
* 41	牧神・妙見神社		—41
* 42	〃		
* 43	〃		
* 44	〃		—36
* 45	止上神社	歌文あり	
46	重久 204 (岩戸) 本田喜與子宅	碑文あり	31
* 47	重久 616—1 (道場口) 吉永稔宅		47
* 48	止上神社		36
* 49	尾牟礼山頂		49
50	白山神社 剣之字都公民館隣		40
51	止上神社		—36
52	〃	(上) (下) 別	
* 53	〃	(伝)富岡織部之助首塚	—54
54	春山原 変電所より北へ1000m	丁丑戦役戦死者墓碑	
* 55	龍尾ヶ岡墓地	島田民部の墓	18
* 56	剣之字都公民館西側の墓地	伝百石墓	40
* 57	止上神社東南200m	乗林寺三十二世 僧覺遍の墓	28

地区別一覧表（重久地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
* 30	供 養 塔	當山中興三代其阿彌陀佛	1	
31	〃	奉書寫法華末軸一字一石供養成就所	1	安永八己丑〇年 二月吉祥日
* 32	田の神像	田の神舞型	1	昭和十一年十月十七日
* 33	〃	大黒型	1	
34	水 神 碑	水神	1	明治三八年三月二日 小野太助
35	〃	〃	1	昭和三十一年 十月二十七日
36	〃	水神 水源地	1	
* 37	宇氣母智 神 碑	宇氣母智神	1	明治九年丙子三月吉日
* 38	〃	奉建立 妻〇〇相中（石祠）	1	明治二年己巳 三月十一日
* 39	〃	宇氣母智神	1	明治九年丙子九月九日 止上郷中
40	〃	宇氣母智神社	1	明治二十年九月十八日
* 41	馬頭観音碑	馬頭観音（山神石祠）	1	天保拾一年
* 42	宇氣母智 神 碑	宇氣母智神	1	昭和三十一年 旧四月三日建
* 43	石 馬 像		1	昭和二年七月二十五日 建立
* 44	石 座 像		1	元和四年〇〇月
* 45	火の神碑	秋葉大神（石祠）	1	大正九年十一月十八日 荒田彦四郎建
46	灯 籠	抱地の碑（郷土開拓地・残欠）	1	慶応四年辰三月吉日
* 47	道 標	一里塚石柱	1	
* 48	石 柱	止上六社大権現（鳥居残欠）	1	寛延二己巳正月二十日 覺遍
* 49	石 祠		2	
50	〃		1	
51	灯 籠	手水鉢・燈籠	1	享保十七年 奉建立燈一基
52	手 水 鉢	（上）奉納・止上神社（下）六地藏	1	明治九年丙子四月三日
* 53	墓 石	石塔（残欠）	1	
54	〃		1	明治十丁丑七月 八日 舊五月廿八日
* 55	〃	月光良圓居士 好山妙玉大姉	1	宝永六丑八月初四日
* 56	〃		1	
* 57	〃	七十八年 稻元氏	1	明和四丙戌六月晦日

番号	所在地	備考	地図番号
58	覺遍墓の所		28
59	〃		
* 60	乗林寺跡		
* 61	〃		
* 62	〃		28
* 63	〃		
* 64	〃		
* 65	剣之字都町144（剣之字都）吉永正秋宅		40
66		隼人塚ともいう	66
* 67	止上神社		
* 68	〃	（伝）大隅神	36
69	〃	（伝）覺遍作	
70	〃		
71	重久 442（道場口）永瀬サチ宅前		71
72	重久 41（岩戸）貴島枝宅付近	空港道路より南へ 10m畑の土手の中	72
73	重久 811（妻屋）小川道郎宅	石垣の中	73
* 74	重久 739（妻屋）櫻井純行宅前	〃	74

番号	所在地	備考	地図番号
* 75	徳光神社 河内公民館裏（豊受大神）の左	通称「トバツサア」 「からいも」の神様	75
* 76	林田バス停「仲間」付近（市野々）		76
77	周防殿井手		77
78	川原大山祇神社 川原小学校隣		78
* 79	薄木ゲートボール場付近		79
* 80	河内公民館 裏		75
* 81	前黒石公民館東隣	十文岳より移設	81
82	萩之元 夕岸線沿い		82
83	所在地未確認		

地区別一覧表（重久，川原地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
58	墓 石	方形柱型	1	享保四乙亥 十一月廿二日
59	〃	権大僧深享坊位	1	文化元子年九月廿三日
* 60	〃	乗林寺住覺隆 俗姓稻元 年二十八	1	寛保三年癸亥 五月二十七日
* 61	〃	乗林寺住盛純	1	宝永二年乙正月□□日
* 62	〃	大月覚主 心月妙等	1	元禄十年六月廿三日
* 63	石 碑	僧侶名（乗林寺歴代僧侶名）	1	
* 64	〃	〃	1	
* 65	〃	金山昆古神 金山昆賣神 火産霊神	1	明治二十二年己丑 正月廿二日
66	供 養 碑	隼人首塚	1	
* 67	記 念 碑	本地堂舊跡 明治百年記念	1	昭和四十三年 二月十八日発掘
* 68	墓 石	（自然石）	2	
69	龍頭石造		1	
70	記 念 碑	御神楽記念碑	1	大正十三年四月
71	石 敢 当	石敢當	1	
72	〃	〃	1	
73	〃	〃	1	
* 74	〃	〃	1	

（川原地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 75	五 輪 塔	残欠	1	
* 76	田の神像	座像型	1	
77	水 神 碑	水神・山神（自然石）	1	
78	山 神 碑	石祠	1	
* 79	三神の碑	□水神・御田神・御山神（箱型）	1	寛政二庚戌歳三月□日 施主 安田源右衛門
* 80	豊受神碑	豊受大神	1	明治三十一年旧閏三月 三日 川内谷郷中立之
* 81	豊受比売 神 碑	豊受比賣大神	1	明治三十年旧三月十日
82	馬頭観音碑	早馬神社（自然石）	1	明治二十八年四月八日
83	〃	馬頭観世音（石祠）	1	明和七天十一月吉日

石造物調査

番号	所 在 地	備 考	地図番号
84	所在地未確認	通称「でにつさあ」 (大日)	
* 85	夕岸線沿い	夕岸川より黒石へ 600m小高い丘の頂	85
86	川原大山祇神社		78
87	川原市野々		87
* 88	川原薄木大山祇神社	多数の人名あり	
* 89	〃		
* 90	〃		
* 91	〃		

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 92	牧内公民館		92
* 93	上木原公民館前 道路向かい	3つの碑の中央 左右に人名あり	
94	〃 裏		
95	松ヶ野大山祇神社	右	
96	〃	左	
* 97	木原小中学校裏門		97
* 98	市営住宅西隣 杉林の中	心中観音ともいわれている	98
99	郡田3467 尼殿土手 (松ヶ野) 亀沢親宅	右	
100	〃	左	
* 101	木原牧内	市と町の境界は、川の 中央である	101
101-1	平成ファーム(株) 下外戸農場隣		101-1

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 102	川内4283 (真谷) 瀬戸口隼雄宅	人名あり	102
102-1	本戸小学校跡の西隣 丘の頂		102-1

地区別一覧表（重久、木原、本戸地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
84	馬頭観音碑	石 祠	1	嘉永二年酉大日
* 85	月 輪 塔	梵字（表に「バン」裏に「ア」）	1	正長二天十一月十二日 願主成金大法□□
* 86	明神鳥居	山 王	1	享保十五庚戌八月吉日
87	石 橋	市野々橋	1	
* 88	灯 籠	庚申講	1	明治廿八年 八月廿八日
* 89	馬頭観音碑	奉勧請早馬大明神（自然石）	2	天保二年辛卯 十一月吉日
* 90	宇気母智 神 碑	石 祠	1	明治二十八年 八月廿八日
* 91	石 碑	欠 損	1	明和八年卯四月吉日

（木原地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 92	馬頭観音碑	自然石	1	
* 93	山 神 碑	岡山神社 木原方限（石祠）	1	安政二年卯三月
94	〃	石 祠	1	安政四巳四月二十五日
95	豊受大神碑	豊受姫皇大神	1	明治廿六年巳三月五日 亀沢善太郎
96	石 像	童女墓	1	
* 97	石 敢 当	泰山石敢當	1	
* 98	石 像	女人石像	1	
99	石 祠	尼殿土手の祠（自然石）	1	
100	山 神 碑	石 祠	1	明治十七年八月三日
*101	石 橋	牧内橋（小瀬戸橋）	1	大正十五年八月
101-1	石 仏	守通行祀宮 郡田社中	1	宝永七亥天 九月二十二日

（本戸地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*102	山 神 碑	石 祠	1	安永三年十一月吉日
102-1	〃	山神（石祠）	1	明治三十年十月一日 前田十郎

石造物調査

番号	所在地	備考	地図番号
* 103	(後本戸) 桑山商店隣	所在としては、財部町にある が本戸地区のものである	103
* 104	〃		
* 105	川内4277 (真谷) 楠元フクエ宅南		105
* 106	前田家の墓地	前田猪之助の墓	106
106-1	本戸墓地西の丘 (本戸観音の丘)		106-1
106-2	〃		

番号	所在地	備考	地図番号
107	平成ファーム前県道の北側		107
* 108	熊野神社		108
* 109	〃		
110	郡田1196 (辻) 児玉ストアー前		

番号	所在地	備考	地図番号
111	台明寺跡	台明寺12世	111
112	〃		
* 113	〃		
* 114	台明寺墓地	台明寺僧墓	111
* 115	〃		
* 116	〃		
* 117	〃		
* 118	〃		
* 119	〃	台明寺8世 (天台宗へ改宗後)	111
* 120	〃		

地区別一覧表（本戸，郡田，台明寺地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 103	山 神 碑	山神（自然石・「大日」碑が土台）	1	享保十一年二月吉日 3名の銘がある
* 104	天狗神碑	大天狗小天狗四十八天狗神様 （自然石）	1	昭和九年十二月七日 松原□□前田良右衛門
* 105	田の神像	田の神舞型	1	大正十四年十一月立 楠元八郎左衛門
* 106	石 像	□山貞春信士	1	元文四年二月七日
106-1	馬頭観音碑	馬頭観世音（自然石）	1	昭和十七年四月十八日 前田兼信立
106-2	大日如来碑	大日如来 本戸部落一同（自然石）	1	

（郡田地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
107	宇氣母智神 碑	宇氣母智神（自然石）	1	昭和十年四月八日
* 108	灯 籠		1	寛文五年乙巳 三月十九日
* 109	石塔・石祠	石塔・石祠群	1 1	
110	石 敢 当	石敢當	1	

（台明寺地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
111	五 輪 塔	法印盛善	1	元禄十二 九月二十九日
112	〃	大法師真盛	1	貞享三丙寅九月廿一日
* 113	宝 塔 的 五 輪 塔	法印盛□	1	延宝八年七月十二日
* 114	無 縫 塔	法印憲微塔	1	万延二年辛酉歳 正月六日寂
* 115	〃	竹林山第十一世紫雲院法印應□□ （壽六十四歳）	1	天保十一年子 九月初五日
* 116	〃	権少僧都良琴	1	文政元戊寅歳九月朔日
* 117	〃	権大僧都法印良和尚塔 縁起之寄附静念房知真理現房知覺	1	享和三癸亥歳 七月初六日
* 118	〃	権大僧都法印良義塔	1	寛政十戊午歳九月 二十四日 寄附 良永
* 119	〃	権大僧都法印憲林	1	寛政四年子五月八日
* 120	〃	當山十二世権大僧都法印覺淳塔	1	文久二壬戌三月廿九日

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 121	台明寺墓地		
* 122	〃		
* 123	〃	台明寺 2 世	111
124	台明寺墓地		
* 125	芭蕉田		125
126	日枝神社参道 左	埋没	126
* 127	郡田川左岸 台明寺墓地近く		127
128	日枝神社境内参道入口 右	通称「アングドン」	
129	日枝神社境内参道左側 門神の後		126
* 130	台明寺984（台明寺下）山崎トシ子宅北	通称「アングドン」 「ゴクンゾサア」	125
* 131	日枝神社		
* 132	〃		126
133	台明寺1414（台明寺下）福吉俊則宅		133
* 134	日枝神社	国分市指定文化財	126
* 135	郡田川右岸		135
* 136	台明寺 981-1（台明寺下）久保アサコ宅前	山之路に真宗を 広めた人の碑	136
137	台明寺墓地	憲徴は万延二年没	
138	〃		111
139	〃		
140	日枝神社		
* 141	〃 社務所奥右		126
* 142	〃 〃 左		
143	台明寺墓地	台明寺僧墓	
144	〃	〃	111
145	日枝神社		
146	〃		126
147	〃		

地区別一覧表（台明寺地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 121	墓 石	臺明寺住僧法印覺岑大和尚位	1	宝永四年丁亥 九月二十五日
* 122	五 輪 塔	法印覺岑大和尚位	1	当寺十四世宝永四丁亥 歲九月廿五日
* 123	//	前住當山中興第二世權大僧都 法印寂應大和尚位	1	元文三戊午天 七月初十日 生國筑後
124	石 幢	六地藏塔	1	
* 125	板 碑	奉書寫法花經一□□ 一字一石逆修 長賢・梵字	1	永正五年九月十一日
126	//	方柱型	1	
* 127	山 神 碑	日吉山王宮 地主大權現（石祠） 祈願主 地主 三吉 行年六十七歳造立之	1	元文二丁巳九月吉日
128	磨 崖 仏		1	
129	//		1	
* 130	//		1	
* 131	宇氣母智神碑 小国皇大神碑	宇氣母智大神 □ 小国皇大神	1	明治八年亥四月八日
* 132	馬頭觀音碑	馬頭觀音（石祠）	1	
133	水 神 碑	水神（自然石）	1	
* 134	記 念 碑	貢御古跡青葉竹	1	大正四年十一月七日
* 135	//	島津齋彬公御茶水	1	
* 136	//	開宗之碑	1	昭和五年三月廿四日
137	灯 籠	常夜一燈・憲徴	1	
138	//	献 燈	1	
139	//	//	1	
140	//	//	1	天明壬寅年十一月五日 坂本氏清東
* 141	層 塔	三重塔	1	
* 142	//	//	1	
143	僧 墓	精 賢（自然石）	1	
144	//		1	
145	五 輪 塔	（残 欠）	1	
146	石 塔	（ // ）	1	
147	//	梵 字	2	

番号	所 在 地	備 考	地図番号
148	ため池の淵（毛梨野）		148
149	芦谷公民館上流100m		149
150	高座神社（毛梨野）		
151	〃 参道入口		
152	〃 〃		
153	郡田2463（片平）宮田勇宅角		153
* 154	〃 218-4（久保田）久保田正幸宅角	土台に碑文あり	154
* 155	中台溝		
* 156	〃		
157	郡田 223-1（久保田） むかき商店のブロック壁の中		157
* 158	〃 227（久保田）大紋久宅角		
159	〃		
160	三郷公民館北側の墓地		160
* 161	国分中学校正門前		161
* 162	羽坂橋 清水郵便局の東50m		162
* 163	弟子丸池		163
* 164	三郷（北小北東）郡田川右岸 田んぼの中 黒田ワカ宅 北50m		164
* 165	清水 1324（玄亀庵）藤浪良信宅前		165
* 166	〃 1495（清水東）大保ユキエ宅前		166
167	南方神社境内		167
168	豊北 平溝用水の水門の東20m		168
* 169	三郷公民館		160
170	豊北墓地 入口の右		170
* 171	清水 1374（清水東）安田義勝宅石垣	看板で隠れている	171
172	郡田2408-1（片平）池田三夫宅角		153
* 173	国分中学校裏門		161

地区別一覧表（清水地区）

（清水地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
148	水 神 碑	水神（箱型）	1	
149	豊受大神碑	豊受大神（自然石）	1	明治四十一年 旧三月十日
150	宇氣母智 神 碑	宇氣母智大神	1	明治四十年 旧三月十一日
151	門 神 碑	石 祠	2	宝暦元辛未十二月吉日
152	〃	〃	2	元文二 巳三月吉日
153	山 神 碑	（坂）大杉大明神	1	明和四丁亥二月吉日
* 154	田の神像	神像型	1	
* 155	〃	御田神（自然石）	1	
* 156	保食神碑	保食神 梵字（自然石） （墨書の跡がある）	1	明治七年八月十日
157	水 神 碑	水 神（自然石）	1	
* 158	灯 籠	奉寄進 観音佛宝前 久保田村女中 十八夜待施主	1	
159	石 仏	座 像	1	
160	〃	地藏・池田治右衛門	1	宝永四年□□□
* 161	田の神碑	田ノ神（自然石）	1	
* 162	水 神 碑	水神（自然石）	1	大正十五年 九月二十一日
* 163	〃	〃	1	
* 164	〃	梵字（バン）	1	元禄七甲戌天真應上人 建者 前田□□
* 165	火の神碑	秋葉神（自然石）	1	昭和五年三月建
* 166	〃	小國大神	1	明治卅一年 旧三月廿一日 内馬場中
167	宇氣母智神碑 小国皇大神碑	宇氣母智神 □ 小國皇大神 □	1	明治十一年寅九月 十九日 清水弟子丸村
168	宇氣母智神碑 小国皇大神碑	宇氣母智神 □ 小國皇大神 □	1	明治八年五月十日造立 豊之口郷中
* 169	宇氣母智神碑 小国皇大神碑	宇氣母智大神 □ 小國皇大御神 □	1	明治廿三年旧十一月 十八日 坂之上郷中
170	宇氣母智神碑 小国皇大神碑	宇氣母智大神 □ 小國皇大御神 □	1	明治八年乙亥 二月十七日
* 171	石 敢 当	石散當（長方柱型）	1	元文五年庚申 十一月吉日
172	〃	石敢當	1	
* 173	記 念 碑	神代聖蹟智尾	1	紀元二千六百年 （紀元二千六百年は昭和15年）

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 174	天御中主神社（北辰神社）		174
* 175	南方神社境内		167
176	〃		
177	〃		
178	馴松公民館裏 改修前の平溝用水・取水口の上		178
179	馴松公民館裏	平溝用水取水口の 完成記念碑	
* 180	楞嚴寺墓地	日置流弓流の師範	180
* 181	〃	島津忠将の墓 清水城主の墓跡	
182	清水297-6（三郷）宮田和美宅前		182
183	郡田2524（馴松）森山純男宅北 馴松墓地の北・平溝用水路の脇		183
184	下河畑橋より西へ50m 小畑実習農場側土手		184
* 185	北山神社（小畑） 新町 759-6（中台）内野繁宅隣		185

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 186	金剛寺跡	島津義久（舞鶴城主）墓	186
* 187	法隆寺境内		187
* 188	〃		
* 189	〃		
190	国分寺跡	国分市指定重要文化財	190
191	金剛寺跡	島津義久（舞鶴城主）墓	186
192	遠寿寺跡		192
* 193	中央1-25-26 旧市立図書館	橘木城跡の供養塔 国分市指定文化財	193
* 194	〃	橘木城跡の供養塔 国分市指定文化財	
* 195	〃		

地区別一覧表（清水，中央地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*174	記 念 碑	塩井之水	1	昭和五十五年 十二月吉日
*175	明神鳥居	諏訪宮	1	享保十四己酉年閏 九月吉日
176	灯 籠	燈 籠	1	弘化二歳乙巳二月望日
177	記 念 碑	諏訪夜學校創立十年記念	1	明治三十六年 旧二月二十七日
178	水 神 碑	水 神	1	宝永三丁亥天
179	記 念 碑		1	昭和十三年六月
*180	//	東郷重尚代々之墓碑	1	昭和六十三年七月再建
*181	//	心翁大安大居士楞嚴殿	1	
182	保食神碑	保食神（上部欠損）	1	□年六月十八日
183	石 仏	座 像	1	
184	墓 石	童子墓	1	明和五年□□□
*185	石 柱	北山神社	1	

（中央地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*186	層 塔	貫命存忠庵主（三重塔）	1	元和二年丙辰 三月吉日
*187	//	先祖代々 想檀中 為菩提之	1	寛政三天亥四月吉日
*188	無 縫 塔	當寺十四世中興□□ □連社眼誉上人□全大和尚	1	□和三天
*189	//	當寺十三世 行蓮社□普性善和尚	1	明和三丙戌歳 七月十二日
190	層 塔	国分寺石造層塔（六重塔）	1	康治元壬戌十一月六日
191	宝篋印塔	大國豊知主命	1	
192	//		1	
*193	方柱塔婆	南無阿弥陀佛 印阿弥陀佛	1	曆応四季九月八日
*194	笠 塔 婆	南無阿弥陀佛 慮阿弥陀佛	1	建武三季 丙子 八月十五日
*195	板 碑	（残 欠）	3	貞治三年 正和□

番号	所在地	備考	地図番号
* 196	金剛寺跡		
* 197	〃		
* 198	〃		
* 199	〃		186
* 200	〃		
* 201	〃		
202	遠寿寺跡		192
* 203	金剛寺跡		186
* 204	龍昌寺跡	龍昌寺僧墓	
* 205	〃	〃	
* 206	〃	〃	203
* 207	〃		
* 208	国分寺跡		
* 209	〃		
* 210	〃		190
211	〃	手水鉢になっている	
212	郷土館（清水の楞嚴寺にあったもの）		212
* 213	金剛寺跡		
* 214	〃	「梵字」珍しい形体	186
* 215	〃		
* 216	国分寺跡		190
* 217	〃		
* 218	金剛寺跡		186
* 219	中央2-3-2（中之馬場）野田永春宅	（伝）氏神	219
* 220	遠寿寺跡		
* 221	〃		
* 222	〃	持明様の母	192
* 223	〃		
* 224	〃		
225	若宮神社		225

地区別一覧表（中央地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 196	五 輪 塔	當寺七代住法印頼有	1	正保四年丁亥 六月十九日
* 197	//	法印盛□	1	万治二年□八月吉日
* 198	//	當寺権大僧都法印頼永十一世	1	元禄十四辛巳天 八月廿八日 飯牟礼氏
* 199	//	當寺第四世法印盛遍	1	寛永十五年八月 彼岸建之
* 200	//	金剛寺十七世住法印太圓	1	宝暦二壬申八月廿日
* 201	//	金剛寺法印憲海 十二世	1	
202	//		1	
* 203	無 縫 塔	金剛寺十八世法印尊盈	1	
* 204	//	龍昌十二世 仁嶽堯和尚	1	
* 205	//	大 淵	1	享保十七壬子 十一月十日
* 206	//	永泰前住□源	1	慶応元 乙丑極月八日
* 207	六 地 蔵	供養塔・六地藏（残欠・八角柱）	1	寛永六己巳十月二日
* 208	石 塔	石塔残欠群	多数	
* 209	仁 王 像	仁王像 上半身	1	
* 210	//	// 首なし	1	
211	//	// 逆さに埋まっている	1	
212	//	// 頭部だけ（あ・うんの対）	2	鎌倉初期と推定される
* 213	灯 籠	庚申塔（献燈） 庚申信仰之施主建立之	1	貞享五年卯月十三日
* 214	六 地 蔵	梵 字	1	
* 215	石 塔	六観音・梵字	1	
* 216	//	六観音再興碑（六観音像）	1	永禄五年壬戌仲 春彼岸吉日
* 217	//	国分寺再造立碑	1	天正十年壬午二月
* 218	入定石室	真応上人石室	1	元禄五天壬申 九月廿一日
* 219	供 養 塔	奉修持聖観音経一万八千巻	1	天正十年壬午十一月 施主安純
* 220	灯 籠	奉寄進	1	元和二年八月初二日
* 221	墓 石	喜見院浩隆 逆修	1	慶長十二丁未六月吉日
* 222	//	圓信院妙蓮尊霊（円信院殿）	1	慶長十二丁未 六月十八日
* 223	//	浄仁覚霊位	1	//
* 224	//	悲母 妙俊靈魂位	1	//
225	宇氣母智神 碑	宇氣母智神	1	

石造物調査

番号	所 在 地	備 考	地図番号
226	中央1-6-5 (西下東)	メガネスーパーの 北50m	226
* 227	中央1-25-26 旧市立図書館角		193
228	中央6-4-3 (四方田) 松元規宅の西隣		228
229	中央6-15-18 (唐仁東2) 梅北優宅の東隣	「拍子橋伝説の碑」の所	229
230	中央1-24-42 (旭通り) 藤田勉宅前		230
* 231	中央3-6-14 (道場下)		231
232	金剛寺跡	一番奥 (南側)	186
233	若宮神社		225
* 234	中央1-2-1 (駅前)		234
* 235	中央4-4-18 車田秋葉神社		┌—235
* 236	〃 〃		
* 237	中央3-12-47 永山酒造東隣		237
* 238	中央3-6-14 (道場下)	常念寺より移設	231
239	中央3-19-5 原口産婦人科の斜め向かい		239
* 240	中央3-27-1 ロイヤルビル前		240
241	中央3-20-9 海江田商店角		187
* 242	中央1-7-32 森本旅館隣		┌—242
* 243	〃 〃		
244	中央3-12-47 (中立) 永山酒造前		237
* 245	中央1-8-42 (国分西馬場) 新徳克巳宅前		245
246	中央1-8-47 (〃) 榎園正彦宅角 (国分中央高校東)		246
* 247	中央1-22-26 (御里) 市来眞一郎宅前		193
248	中央3-15-11 林ハイツ前		248
249	中央4-3-23 (東下) 有馬實理宅前		249
250	郷土館庭		212
251	中央3-6-18 (西下) 梶岡節夫宅前		231
252	中央4-25-20 (東町) 高倉利秋宅前		252
253	中央1-19-48 (西上) 浜田信夫宅前		253
254	若宮神社		┌—225
255	〃		
* 256	〃		

地区別一覧表（中央地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
226	宇気母智神碑	宇気母智神	1	明治九年丙子 八月十九日
*227	水 神 碑	水神（自然石）	1	明治十年丁丑十月吉日
228	〃	〃（上部欠損）	1	明和〇〇年霜月〇〇
229	〃	〃	1	昭和三年 旧五月二十八日
230	〃	〃	1	
*231	石 像	地藏菩薩座像	1	
232	墓 石	有田文秀 花屋妙栄	1	
233	火の神碑	秋葉神社	1	
*234	〃	秋葉神社（石祠）	1	昭和五年 十一月二十八日
*235	〃	秋葉・車田郷中（石祠）	1	萬延元年申七月十日
*236	〃	秋葉神社（自然石）	1	
*237	〃	秋葉神社 本町中・上立馬場中・塩屋町中	1	
*238	〃	秋葉神社	1	昭和三十一年八月朔日
239	〃	秋葉宮	1	明治廿八年未旧正月
*240	〃	軻遇槌神 カグツチノカミ 川跡町仲	1	明治十一年寅 旧二月十八日
241	〃	〃	1	明治十三年庚辰旧三月
*242	〃	小國神（石祠）	1	明治十七年六月十八日
*243	馬頭観音碑	牛馬神（石祠）	1	慶応四年戊辰五月吉日
244	石 敢 当	石□當	1	
*245	〃	石敢當	1	
246	〃	〃	1	
*247	石 敢 当	泰山石散當	1	
248	〃	石敢當	1	
249	〃	〃	1	
250	〃	〃	1	
251	〃	〃	1	
252	〃	〃	1	
253	〃	〃	1	
254	灯 籠	永代常夜燈・久木田半助国保	1	文政三年庚辰二月吉日
255	〃	〃・施主 立山次右エ門	1	文化十三 丙子 秋八月吉日
*256	〃	奉寄進 石灯籠一基	1	元禄五年壬申 十一月吉日

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 257	中央4-4-18 車田秋葉神社		235
258	中央4-18-9 (上車田) 田實京子宅前	平溝用水路の淵	258
259	正覚寺墓地		259
* 260	中央4-27-10		260
* 261	八坂神社	(追刻) 明治三拾二年六月吉日	} 261
* 262	//		
* 263	遠寿寺墓地	幕末・明治初期の 有名な画家	192
* 264	龍昌寺墓地		203
* 265	金剛寺跡	西南之役戦死者慰霊燈	} 186
* 266	//		
* 267	//		
268	法隆寺		} 187
269	//		
270	//		
271	伊勢神社		} 271
* 272	//	碑文あり	
* 273	//	碑文あり	
274	城山展望台 風力発電の真下		274
274-1	城山登山道の右 林の中 (毛梨野岐バス停南200m)		274-1
274-2	城山登山道の右 丘の頂き		274-2
275	鼻面山山頂		275
276	舞鶴城跡 (朱門の前)		276
277	龍昌寺墓地 (山の上)	市内最大 (高さ 2 m)	} 203
* 278	// //		
* 279	//	「富吉 榮二」墓碑 碑文あり	
280	法隆寺		187
281	中央6-3-16 松元商店前		281
281-1	国分小学校南角	碑文・多数の氏名あり	} 281-1
281-2	//		

地区別一覧表（中央地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*257	水 神 碑	龍大向山	1	
258	〃	龍王宮跡	1	昭和57年11月
259	灯籠,墓石群	林氏由来碑・鳳山道人墓・他66基	68	寛政元年巳酉季春日
*260	門 柱	八角柱	2	享保八年曆 癸卯年
*261	〃	〃	2	享保七天壬寅 正月二十四日
*262	エビス祠	石祠（加治木石製）	1	
*263	墓 石	有馬貞英之墓（服部英龍）	1	明治三十八年十二月 二十六日 享年64歳
*264	〃	津曲家祖先累代之墓（亀座）	多数	文化四卯五月十一日
*265	慰 霊 碑	慰霊燈（亀座）	1	明治十四年一月十八日
*266	墓 石	第六世法印頼源	1	
*267	〃	法印真海	1	享保八年九月廿五日 永福寺先師
268	句 碑	芭蕉塚句碑	1	寛政十年戊午卯月
269	〃	瀾波追悼句碑	1	天保十年亥 十二月十一日建立
270	〃	文清居士追悼碑	1	元治元年歳次甲冬 十一月六日建
271	不動明王像		1	
*272	山 神 碑	山王石碑・山神	1	寛政甲寅季秋庚戌
*273	〃	石 祠	1	明治四十二年十二月
274	〃	〃	1	嘉永二年巳□霜月吉日
274-1	〃	〃	1	
274-2	〃	（自然石・無銘）	1	
275	〃	山神（箱型）	1	大正十五年 四月二十一日
276	石 橋		1	
277	墓 石	石祠墓	1	明暦元年六月二日
*278	〃	禎祥院桂岩惠芳大姉（獅子台座）	1	安永七戌戌 八月二十九日
*279	〃	富吉家累代之墓	1	昭和三十一年 九月二十六日
280	石 仏	地藏菩薩立像	1	宝永二酉天七月九日
281	火の神像	石 祠	1	
281-1	記 念 碑	健兒之碑	1	大正元年八月卅日 舞鶴青年学舎
281-2	灯 籠	永代常夜燈	1	宝暦六丙子年二月吉日 本町 鶴木次左衛門

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 282	氣色乃杜		282
* 283	府中町11-3 東勝美宅	税所氏墓 国分市文化財指定	—283
* 284	〃	税所氏墓	
285	府中町17-41 山岡三雄宅		285
286	山崎墓地	山田越前守有信の供養塔 島津義久の家老	286
* 287	府中墓地		—287
* 288	〃	庚申塔と並んでいる	
* 289	府中町12-65 池田敏雄宅	碑文あり	—289
* 290	〃		
* 291	〃		
* 292	〃		
* 293	〃		—286
294	山崎墓地		
295	〃		
* 296	祓戸神社境内		296
297	眼鏡橋南側	村之権現（302）の右	297
298	〃 北側		298
* 299	向花公民館	元は馬頭観音と言われている	—299
* 300	〃		
* 301	祓戸神社境内		296
* 302	眼鏡橋南側	水神（297）の左	297
303	府中町10-15 山元薫宅前		—303
304	〃 17-36 吉留勝征宅前		
* 305	〃 21-26 堂脇進宅前		305
306	〃 6-6 北原富士子宅前		306
* 307	府中町25-35 徳田幸宅前		307
308	〃 3-2 コーポよしみつ前		308
309	向花町 4-28 山下美智子宅前		309
310	〃 16-3 中島直友宅前		310

（向花・府中地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 282	宝 塔	梵 字	1	
* 283	//	//	1	鎌倉時代と推定される
* 284	五 輪 塔	//	3	//
285	//	//	1	
286	六地藏塔	利安慶哲居士 山田越前入道	1	維時慶長十四己酉歳 六月拾四日
* 287	庚 申 塔	奉奇進 庚申	1	元禄十丁丑四月吉祥日 主取立良右衛門鬼太郎
* 288	庚申六地藏	(残 欠)	1	
* 289	六 地 蔵	六角方柱 (残欠)	1	
* 290	石 柱	一字一石経塔	1	天明六龍□丙午天 卯月大祥日
* 291	墓 石	高岳貴胤居士	1	安永四歳末六月廿二日
* 292	//	覚智良圓居士	1	安永六丁酉天 五月廿四日
* 293	//	心月妙□□	1	
294	無 縫 塔	権僧都法傳	1	元文五申十月二十四日
295	墓 石	笠塔婆型僧墓・精輪覚永神祇	1	正徳二年壬辰 二月十六日
* 296	水 神 碑	水天石像 (蛇が彫られている)	1	元禄五年壬申二月吉日 石工 小倉鹿之助
297	//	水神 (自然石)	1	安政二年
298	//	// (自然石・月輪あり)	1	
* 299	保食神碑	保食神	1	慶応□□□□ (王政復古の碑文)
* 300	//	保食神社	1	大正三年四月八日
* 301	地 神	地 眼	1	
* 302	石 碑	村之権現 (自然石)	1	
303	石 敢 当	石敢當	1	大正五年十一月
304	//	泰山石敢當	1	
* 305	//	石散当	1	
306	//	石敢當	1	
* 307	塞の神碑	崎田彦神	1	明治卅年二月十一日
308	石 敢 当	石敢當	1	
309	//	//	1	
310	//	石散當 (駒型)	1	

石造物調査

番号	所 在 地	備 考	地図番号
311	祇戸神社境内		296
312	山崎墓地		286
*313	氣色乃杜	碑文あり	282

番号	所 在 地	備 考	地図番号
314	北山神社 新町生活改善センター隣		314
*315	新町 461 (新町2) 有川麗子宅前		315
*316	新町墓地	孝女おナツの墓	316
*317	姫城 130 (新町5) 伊地知努宅向側	僧俊寛船出伝説の地	317

番号	所 在 地	備 考	地図番号
*318	稲荷神社の水神碑の西 約100mの崖面		318
*319	姫城2733 (平岡) 吉尾一宅		319
*320	// 2486-2 (竹下) 仲里眞理子宅角	洞泉寺跡の六地藏	320
*321	田畑自動車前の水路の淵		321
322	稲荷神社		— 322
*323	//	脇に「妙現宮」の 石碑あり	
*324	姫城2826-ハ (竹下) 梅木勉宅角	火産霊神は阿遇突智神 と共に日本書紀に出名	320
*325	竹下 (道路沿い)	(伝) 庚申橋碑	325
*326	姫木城趾		— 326
*327	//		
*328	//		
	//		
329	//	「 ^{キンゴ} 金吾」とは碓山金吾	—
330	姫城2691 (田辺) 田島フサ子宅前		330

地区別一覧表（向花・府中，新町，姫城地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
311	石 造 物	手水鉢・奉寄進	1	安永四乙未三月吉日
312	供 養 塔	二連供養塔・帰一清岩燈禪定門	1	明暦三丁酉六月十八日
*313	石 碑	史碑	1	昭和四十四年四月吉日

（新町地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
314	宇氣母智神 碑	宇氣母智神	1	
*315	石 碑	奉造立 北辰大明神 □ 諏訪大明神 □	1	
*316	墓 石	可憐妙心信女	1	天保十三寅十月廿七日
*317	記 念 碑	こがの杜（風の杜・古賀の杜）	1	大正十四年六月

（姫城地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*318	摩 崖 仏	梵字（阿弥陀三尊）	1	建徳三年二月二十日 願主 円阿
*319	板 碑	梵字（阿弥陀三尊）	1	
*320	六 地 蔵	（残欠）	1	天正九年辛巳 二月□□日
*321	水 神 碑	水天石像（首なし）南無水天妙神	1	元禄二己巳四月八日 當村中施主
322	〃	水神（自然石・月輪に水神と刻む）	1	
*323	宇氣母智神 碑	宇氣母智神	1	明治六癸酉六月吉日
*324	火の神碑	火産大神（ほのむすびのおおかみ）	1	
*325	石 碑	□□護戸□橋（自然石）	1	延宝四年十二月吉日
*326	石 祠	姫城寺 正観音 本尊佛	1	寛保三年癸亥四月八日 作改之結衆敬白
*327	石 仏	座像（首なし）	1	
*328	無 縫 塔	心峰記室禪師	1	
	〃	長歳永椿記室禪師	1	永禄十二年巳己 □月十八日
329	金 吾 石	（自然石）	1	
330	石 敢 当	石散當（自然石）	1	

番号	所在地	備考	地図番号
* 331	久満崎神社		331
* 332	上小川字森ノ木603 野口タタミ工業の北の水田	碑文（氏名）あり	332
333	山下町12-7（山下2）山下政規宅前	碑文あり	333
334	宮下団地		334
335	堀切橋 三つ碑の一番左		┌— 335
336	〃 〃 右		
* 337	久満崎神社	(伝) 馬頭観音 初午祭の馬を奉納していた	┌— 331
* 338	〃		
339	上小川800（前馬場2）福重信雄宅角		339
* 340	〃 707-1（下村西）赤塚勲宅		340
341	久満崎神社		┌— 331
342	〃		
343	〃		
* 344	〃		

番号	所在地	備考	地図番号
345	野口1082-2 南国石油スタンド南の水田	通称「イボの神様」	345
* 346	新川沿いの道路脇（し尿処理場搬入路）	碑文あり 水神様になっている	346
* 347	源照山法禅寺跡（野口松木墓地）	No.346と 合体するようだ	347
* 348	野口橋下		348
* 349	枝宮神社		┌— 349
* 350	〃		
* 351	〃		
* 352	〃		┌— 353
353	野口町16-3（野口南）萬徳香宅前		
354	〃 11-18 11街区の南西の角		

地区別一覧表（上小川，野口地区）

（上小川地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 331	田の神像	田の神舞型	1	安永七戌五月五日 上小川二才中
* 332	//	//	1	昭和三十一年十月一日
333	水 神 碑	石柱型	1	
334	//	水神（箱型）	1	
335	//	仏像型（仏像が彫られている）	1	安政三年辰四月
336	//	水神（駒型）	1	
* 337	石 馬 像		1	
* 338	石 牛 像	（首なし）	1	
339	石 敢 当	石散當	1	
* 340	//	石當散	1	
341	山 神 碑	石 祠	1	享保八年九月吉日 上小川女中
342	手 水 鉢		1	
343	陰 陽 石		1	
* 344	門 神 碑	石 祠	2	元禄四未年正月吉日

（野口地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
345	六地藏塔	伊集院下野入道藤原久治抱節守墓	1	慶長十二丁未年 十月十八日
* 346	仁 王 像	仁王像（下半身）	1	天明二壬寅九月吉日
* 347	//	// （上半身）	1	
* 348	水 神 碑	仏像型（頭に蛇を刻む）	1	
* 349	宇氣母智 神 碑	宇氣母智神	1	明治六酉一月吉日 野口村
* 350	鳥 居	□□神社（残欠・円柱）	1	延宝六戊午
* 351	//	（残欠・上部円形・下部八角形） 紀元二千六百年紀元節 奉祝天孫降 臨祭神木	1	霜月初正月 （紀元二千六百年は 昭和15年）
* 352	手 水 鉢	國分村野口□□ 五ヶ村紀念	1	大正九年四月三日
353	石 敢 当	石敢當 ミカゲ石製	1	
354	石 碑	（自然石）	1	

番号	所在地	備考	地図番号
*355	小烏神社		
*356	〃		
357	〃		
358	〃		
359	松木町 6-37 (松木元) 坂之上操宅前		359
360	〃 41-73 (松木元) 別府アヤ子宅前		360
361	源照山法禅寺跡 (野口松木墓地)	古墓にそれぞれ刻銘あり	347
362	小烏神社		355

番号	所在地	備考	地図番号
363	鎮守神社		363
*364	福島橋近く	多数の人名あり	
365	〃		
366	鎮守神社		
*367	〃		
368	福島1-26-16 (福島2) 花園健二宅前		
369	〃 1-27-15 (福島2) 上西重雄宅前		
370	〃 1-27-9 (福島2) 森山正宅		

番号	所在地	備考	地図番号
*371	広瀬4-8-5 和田正弘宅	(伝) 楠木正勝の墓	
*372	〃		
*373	〃		
*374	広瀬墓地	広瀬公民館保存指定	
375	〃	〃	
*376	〃	〃 碑文あり	

地区別一覧表（松木、福島、広瀬地区）

（松木地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 355	田の神像	神像型座像 大（首なし）	1	元文四末年九月吉日 昭和十五年二月十一日 松木青年団
* 356	//	// 小（ // ）	1	
357	保食神碑	保食神（自然石）	1	
358	石 柱	紀元二千六百年 天孫降臨祭御神木	1	
359	石 敢 当	石當散	1	
360	//	石□□（自然石） （途中で折れて補正してある）	1	
361	墓 石	松木墓地古墓群	11	
362	灯 籠	（残欠）	1	明治廿三年

（福島地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
363	石 仏	立像（首なし）二才中 奉奇進	1	宝暦三酉年□月吉日
* 364	水 神 碑	水神（箱型）	1	天保十四年卯三月吉日
365	//	水 神	1	明治二十九年五月
366	保食神碑	保食神	1	明治二年巳十月
* 367	明神鳥居	奉造立 二才中	1	元文三戌午三月吉祥日
368	石 敢 当	□□□（自然石） （石の頭だけ見えている）	1	
369	//	石□□（自然石） （石の頭だけ見えている）	1	
370	五 輪 塔	（残欠）	2	

（広瀬地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
* 371	五 輪 塔	梵 字	1	□明三季三月廿□日 正行□
* 372	//	地輪残欠	1	
* 373	六 角 柱	楠木正勝の由来について 伊地知茂七氏の証明の碑文	1	元禄八乙亥年 十月初二日 元禄九丙子天拾月吉日 琉球禅隆建立之
* 374	宝篋印塔		1	
375	無 縫 塔	琉球僧墓 得海祖盛智藏禅師	1	
* 376	//	// 前正興當院開山星淑大和尚	1	

番号	所在地	備考	地図番号
* 377	広瀬墓地	広瀬公民館保存指定 碑文あり	374
378	〃		
379	〃		
380	〃		
381	〃	広瀬公民館保存指定	
* 382	〃	〃	384
* 383	〃		
* 384	広瀬10号線沿い		
* 385	〃	碑文多し	
* 386	〃	小村新田開拓時のもの	
* 387	広瀬4- 1-22 宮永ヒデ宅前		387
* 388	〃 3- 1-28 池田武蔵宅	旧上小川にあった	388
* 389	〃 4-11-17 淵脇宅 南側ブロック壁そば		389
* 390	〃 4-17- 7 後馬場通 公園角		390
* 391	〃 4- 4-43 中馬太一宅前		391
392	〃 4-20- 7 岩下彰宅前		392
393	〃 4- 8-32 中馬春江宅前		393
394	〃 4-13-20 甲斐三郎宅前		371
395	〃 3-14-18 蔵原集宅前		395
396	〃 4-22- 5 林元徳次宅前		393
* 397	小村新田		397
* 398	〃		
* 399	〃		
* 400	大穴持神社		400
401	〃 本殿の左側		
* 402	〃 本殿の右側		
* 403	〃		
* 404	〃		

地区別一覧表（広瀬地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*377	無 縫 塔	琉球僧墓 前正興當院 十二世全岑	1	享保十一丙午年 十一月廿七日
378	〃	本因妙良性院火照大徳	1	文化七年九月七日
379	供 養 塔	二連供養塔 常用禪定門 口秋禪定尼	1	
380	墓 石	箱型楞厳寺僧墓	1	明治十八年旧七月七日
381	石 仏	地藏菩薩	1	享保十七壬子七月朔日 施主岩下太郎左衛門
*382	〃	奉造立地藏一尊 地藏菩薩(首なし)	1	□□□十月吉日 施主弥兵衛、二右衛門
*383	板 碑	浄祐・梵字（キリーク）	1	
384	田の神像	旅僧型（加治木石製）	1	
*385	保食神碑	保食神（馬の絵を彫る）	1	明治九丙子年 九月二十日
*386	水 神 碑	石祠・加治木石製	1	弘化四年丁未 七月廿八日
*387	〃	水波賣神 ミズハノメノカミ	1	明治三十年五月八日
*388	〃	水神（箱型・月輪あり）	1	文政十二年
*389	石 馬 像	馬頭観音	1	
*390	〃	〃 （首なし）	1	
*391	石 敢 当	石散當	1	
392	〃	〃	1	
393	〃	石敢當	1	
394	〃	石散當	1	
395	〃	〃	1	
396	〃	石敢當	1	
*397	水 神 碑	住吉大明神（石祠）	1	昭和二十八年十月改修
*398	記 念 碑	小村新田干拓記念碑	1	昭和十一年二月建設
*399	石 仏	座像（首なし）	1	
*400	灯 籠	小村新田干拓関係者名あり	1	□□午十月二日 阿蘇鉄矢
401	〃	小村新田干拓記念碑	1	弘化四年未八月廿五日
*402	記 念 碑	遺効碑	1	明治四十三年庚戌
*403	〃	堤塘竣工記念碑	1	昭和二十九年三月
*404	〃	堤防復旧記念碑	1	大正六年十一月建設

番号	所在地	備考	地図番号
* 405	湊墓地	碑文あり 通称「琉球墓」	—405
* 406	// 琉球墓の右		
* 407	湊145-2（出口）古俵トキエ宅前	田の神像の右	—407
* 408	//	// 左	
* 409	//	三つの碑の中央	—410
* 410	湊963-1 久木田 5 号館の北隣		
* 411	//		—405
* 412	湊墓地	前田 ^{カド} 門の墓	
* 413	//	//	—405
* 414	//	増田 ^{カド} 門の墓	

番号	所在地	備考	地図番号
* 415	淵龍院墓地	お平様の墓 島津義久の長女	—415
416	//		
417	//		
* 418	//		
419	//		
420	//		
421	//		
422	//		
* 423	山下町16-26 徳持庵跡		—423
* 424	//		
425	諏訪神社		425
* 426	上井971-14（向川原）銭瓶久男宅前		—426
* 427	//	多数の人名あり	
428	林田バス停「黒塚橋」（山側）の足元に倒れている		428
* 429	川内525（向川原）桜井義信宅前		429
* 430	五ヶ村井堰		430

地区別一覧表（湊，上井地区）

（湊地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*405	石 仏	如来座像（首なし） 當寺前住慈端堂惠發西堂和尚	1	文化八年未三月十五日
*406	//	観音座像	1	
*407	//	立像（首なし）	1	明和五子□八月吉日
*408	//	// （ // ）	1	
*409	田の神像		1	
*410	//	田の神舞型	1	
*411	水 神 碑	水神（箱型）	1	□□四年六月建立
*412	宝篋印塔的 墓 石	壽田全性居士 前田 ^{カド} 門 半左衛門	1	天明八戊申二月六日
*413	//	壽屋妙性大姉 前田 ^{カド} 門 半左衛門妻	1	天明元辛丑五月廿日
*414	墓 石	増田 ^{カド} 門 源太郎	1	安政三年辰八月十九日

（上井地区）

番号	種 別	碑 銘・形 態	数量	年 紀 銘
*415	宝篋印塔	蓮昌妙守庵主	1	
416	無 縫 塔	燈外和尚	1	
417	//	天産和尚之塔	1	
*418	//	二代島屋淳益和尚	1	慶長十七年壬子 九月十五日
419	墓 石	宝山正珍信士（駒型）	1	貞享元年雪月十五日
420	//	一窓道卷禪定門（ // ）	1	宝永壱初十□月十九日
421	//	駒 型	1	
422	//	童子型	1	
*423	仁 王 像	仁王像（上半身）	1	
*424	//	義久公之蹟・仁王像（下半身）	1	
425	保食神碑	保食神社	1	明治六年癸酉九月廿日
*426	//	保食神 牛馬神 川原中	1	慶応四年辰
*427	//	石柱型（牛の絵が彫られている）	1	明治三十一年 旧三月十日
428	水 神 碑	水神（箱型）	1	天明三年癸卯二月吉日
*429	//	// （ // ）	1	天明五乙巳年六月吉日
*430	//	仏像型	1	

番号	所 在 地	備 考	地図番号
431	徳持庵跡	島津義久の墓	423
432	上井997 (向川原) 室屋隆宅		429
433	〃 228 (垂元) 松元勝哉宅角 (ブロック塀の中)		433
*434	諏訪神社		425
*435	徳持庵跡		423

番号	所 在 地	備 考	地図番号
*436	川内墓地		436
*437	川内197 (下川内) 町田忠吉宅北隣		437
438	川内606-5 (芦原) 竹山実宅東		438
*439	鎮守尾橋袂右岸		439
440	川内981-1 (見帰) 藤山久男宅の裏山		440
441	〃		
442	〃	人名あり	
443	稲富神社		443
444	鎮守尾橋袂右岸 (田の神の左後)		439
445	〃 (田の神の右後)		
446	稲富神社		443
*447	口輪野ゲートボール場南	施工 田畑喜蔵	447
*448	内野々大山祇神社		448
449	仁田原大山祇神社		449
*450	口輪野 千本松 ゲートボール場北100m つつじが多数植えられた小高い丘の頂		447
451	平山・高塚山神社		451
451-1	市有林の麓 (上川内橋より100m)	(伝) 耳の神様	451-1

地区別一覧表（上井、川内地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
431	墓 石	大國豊知主命	1	慶長十六年辛亥 正月二十一日
432	石 敢 当	石散當	1	
433	〃	石敢當	1	
*434	こ ま 犬	こま犬二匹（あ・うん）	1 対	
*435	供 養 塔	二連供養塔・大心恒雄居士 鶴翁妙仙大師	1	

（川内地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
*436	石 仏	庚申地藏・奉供養庚申	1	貞享三歳丙寅十二月 吉日
*437	田の神像	座像型	1	安永六丁酉年
438	〃	〃	1	
*439	〃	立像型 石工 田畑 喜蔵 (昭和初期)	1	
440	保食神碑	保食神（箱型）	1	明治元年辰十二月吉日
441	石 仏	座像（首なし）	1	
442	灯 籠	奉寄進（上部なし）	1	明和七庚寅十月廿四日 野平子落平山渡瀬講 二才中
443	火の神碑	秋葉神社	1	明治二十九年一月 十八日
444	〃	火 神	1	
445	水 神 神	水 神	1	大正九年四月
446	灯 籠	（残欠・解体されている）	1	享保九年
*447	田の神像	立像型（笑顔が印象的）	1	昭和七年四月十六日 口輪野部落中
*448	山 神 碑	山神・梵字（石祠）	1	正保三年八月吉日
449	〃	（石祠）	1	明治廿八年 旧三月十 一日 仁田原郷中
*450	馬頭観音碑	観世音菩薩（牛像が彫られている）	1	明和三年〇月吉日
451	門 神 碑	奉造立（石祠）	2	宝暦八年十一月
451-1	地 蔵	船 型	1	

番号	所 在 地	備 考	地図番号
*452	下井1-3（西上新）繁田ノリ宅前	(伝)立山丹後守の墓 通称「トバサアー」	—452
453			
454	上新墓地		454
455	乙宮神社		—455
456	〃		
*457	下井1873（東上新）井手元正夫宅の北30m		457
*458	〃 1828-1 前村酒店の西100m		458
459	〃 839-1（東内の丸）山元タミ宅		459
460	〃 1807（西今村）中野篤雄宅前		458
*461	〃 3021 角園産業入口 瀬戸口商店より南へ		461
*462	〃 3367（西上新）下井部消防詰所前		462
463	〃 3321（東上新）富満スミエ宅前		463
464	〃 3373（西上新）蔵元時光宅前		464
465	乙宮神社		455
*466	下井2098（花 園 上）児玉俊朗宅の西		466
*467	〃 579-4（西内の丸）初塩辰雄宅前	県道沿い 通称「イボの神様」	467
468	海浜公園入口		468

番号	所 在 地	備 考	地図番号
469	長尾城址		469
*470	敷根1357（門倉）斜木隆雄宅向かい		470
*471	剣神社		—471
472	〃		
473	田淵フォーセット		473
474	敷根団地近く		474
475	敷根火薬製造所の水車跡		475
476	敷根504（赤川）平原幸満宅隣		476

地区別一覧表（下井，敷根地区）

（下井地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
*452	三 重 塔		1	推定 室町時代
453	墓 石	□路□壽種上座（石祠）	1	元和七辛酉□月廿九日
454	二 重 塔	□□永□居士	1	
455	田の神像	座像型	1	
456	〃	板碑型	1	昭和十二年五月 五十七才厄払記念
*457	〃	旅僧型・奉建立・国分下井村中	1	嘉永四辛亥六月
*458	水 神 碑	水神（箱型）	1	慶応四年辰 五月二十八日
459	〃	水神（自然石・無銘）	1	
460	〃	水神（ 〃 ・ 〃 ）	1	
*461	〃	水神（箱型）	1	文久二年五月吉日
*462	石 敢 当	石敢當	1	明治元年辰十一月吉日
463	〃	〃 （自然石・無銘）	1	
464	〃	〃 （ 〃 ・ 〃 ）	1	
465	灯 籠	献 燈	1	安政七申三月吉日 西上新□
*466	水 神 碑	水天（自然石）	1	□□六月八日
*467	条里制の 基 礎 石	（自然石）	2	
468	馬頭観音碑	馬頭観音	1	昭和十五年十一月二日

（敷根地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
469	六地藏塔		1	干時天明竜舎丙午春 三月上旬
*470	石 仏	座像（首なし）	1	宝永四丁亥 十月二十四日
*471	〃	大王神社本地 □□観世音菩薩	1	享保二十年乙卯七月 吉日 宮司覚遍四十七
472	水 神 碑	水神（箱型）	1	昭和二年三月二十一日
473	〃	〃 （ 〃 ）	1	明治二年
474	〃	〃 （ 〃 ）	1	明治六年旧六月
475	〃	水神・地神・山神（箱型）	1	
476	〃	水神（箱型）	1	

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 477	敷根504（赤川）平原幸満宅隣		476
* 478	門倉	多数の人名あり	┌—478
479	敷根1243（門倉）中村フミエ宅前		469
480	長尾城址		481
* 481	門倉坂 水源地の西	山の上から移転	┌—482
482	敷根 918（新馬場）塚脇日出夫宅前		484
483	敷根1108（島馬場）住安弘宅前		470
484	敷根1063（島馬場）太良木良正宅前		486
* 485	敷根1357 四角路上 （門倉）斜木隆雄宅向かい		┌—469
* 486	敷根港入口に移設		471
487	長尾城址		┌—491
488	〃		492
489	〃		
490	剣神社		
* 491	敷根小学校跡地に移設		
* 492	高橋 用水路の淵		

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 493	飯富神社の西		┌—493
* 494	〃		495
495	上之段128（上之段）有村文明宅前 完成記念碑の隣り		496
* 496	上之段2543（朴木） 朴木登宅の東約200m 牧之原学園下		497
* 497	飯富神社		498
* 498	J A あいら上之段倉庫前（歩道橋の北）		497
* 499	飯富神社	市成氏碑文あり	

地区別一覧表（敷根、上之段地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
19 20 21 *477	田の神像	田の神舞型	1	安政四年三月三日 昭和二年旧四月二日
*478	//	//	1	
479	//	立像型	1	
480	山 神 碑	山 神	1	
*481	馬頭観音碑	馬頭観音	1	
482	石 敢 当	石當散（自然石）	1	
483	//	無 銘（ // ）	1	
484	//	石散當	1	
*485	庚 申 塔	猿田彦命 ^{ミコト}	1	
*486	門 柱	町 門	2	
487	石 祠	若宮神社跡の石祠	1	享保六丑□天三月吉日
488	石 造 物	若宮神社跡の石造物	1	享保六丑□天
489	灯 籠		1	享保六丑□天
490	//		1	
*491	//	獻燈 在米人建設	1	明治四拾壹年三月
*492	石 碑	敷根火薬製造所跡	1	昭和53年 9 月建立

（上之段地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
24 27 *493	田の神像	神像型（シャクを持つ）	1	宝暦十三□未三月吉日
*494	//	田の神舞型（メシゲ・ワンを持つ）	1	明治二十年正月十四日
495	//	//	1	
*496	//	御田神（メシゲ・ワンを持つ）	1	明治二十年二月十三日
*497	保食神碑	保食神（箱型）	1	明治十八年九月
*498	地 蔵	立像地藏菩薩・錫杖を持つ	1	
*499	記 念 碑	修遠祖傑叟府君招魂碑	1	嘉永四年辛亥 十一月二十二日

番号	所 在 地	備 考	地図番号
* 500	宮毘神社		500
* 501	塚脇小学校の前の筋を南へ1000m 福山町との境	碑文あり	501
* 502	永山大山祇神社（大日）の右側		502
* 503	〃 （保食神社）の左側		
504	畜産試験場 正門左側にある官舎の西側		504
* 505	ゲートボール場西	右及び裏面に 人名が多数彫ってある 脇に母子の牛の 臥像が置いてある	505

地区別一覧表（塚脇地区）

（塚脇地区）

番号	種 別	碑 銘 ・ 形 態	数量	年 紀 銘
* 500	庚 申 塔	庚申公養	1	元禄七天甲戌十月
* 501	田の神碑	田の神・水神碑（箱型）	1	明治十六年三月吉日
* 502	保食神碑	保食神社（箱型・馬の絵あり）	1	
* 503	馬頭観音碑	大日（箱型・牛の絵あり）	1	
504	〃	馬頭観世音（自然石）	1	大正四年四月三日建立
* 505	〃	石祠（牛の絵あり）	1	明治二十二年九月 □十八才八寅□道市

〔参照〕

石塔に彫られている梵字の種類の一部

六観音

サ

聖観音

千手観音

馬頭観音

キリク

ウーン

キャ

キリク

ホ

十一面観音

如意輪観音

不空絹索観音

十三仏

ウーン

サク

バイ

カ

マン

カーン

タラーク

阿閼

勢至

薬師

地藏

文殊

不動

虚空蔵

大日

弥陀

観音

弥勒

普賢

釈迦

六地藏

イ

黒衣地藏
(地蔵道)

黒目地藏
(地蔵道)

天月地藏
(地蔵道)

イ

ライ

カ

人形地藏
(地蔵道)

雲衣地藏
(地蔵道)

天童地藏
(地蔵道)



29 30 2 3 4 5 6 7 8 9 10

12 念仏寺跡石塔群	2ほか 念仏寺石塔群
① 念仏寺跡墓地奥 ③ 小型が多い。	① 念仏寺跡墓地
⑤ ④ ほとんど刻銘不明。 梵字、「政阿」など散見される。	④ 10 「七ヶ年忌辰 慶安三年五月廿四日 孝子敬白（一三七〇） （7のすぐ後 石垣の中）」 9 「（無銘）」 8 「御周忌遊行□ 他阿弥陀佛 文和四年八月廿日願主（一三五五）」 7 「師阿 念佛寺二代 七ヶ年忌辰 至徳五年正月廿九日 （一三八八）」 6 「師阿 念佛寺四代 応永三十二年正月十九日（一四二五）」 5 「明阿 念佛寺六代住持 永正八年辛未十一月六日（一五一二）」 4 「師阿 念佛寺七代 天文八年十二月十七日（一五三九）」 3 「其阿 念佛寺 永禄□□四月□□」 2 「其阿 念佛寺九代」 30 「当山中興三代其阿彌陀佛」 29 「建徳二、七、廿七 南無阿彌陀佛三十三 香阿」



14 五輪塔（残欠）	13 五輪塔群
① 剣之字都町吉祥院跡 ② 慶長十年十月吉日（1605） ③ 縦29×横36×高33センチ	① 剣之字都町91 児玉実光宅奥 ② 不明
⑤ ④ 「法印覺遍逆修」の刻字。ほかにかなり大きな五輪塔（残欠）もある。	⑤ ④ 風化が進む。一七基。



17

16



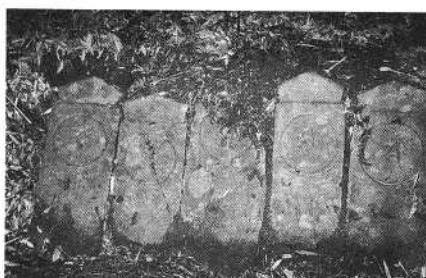
17, 16 税所氏墓	15 五輪塔
① 入戸（川畑家墓碑後） ③ （左）高86センチ（右）高72センチ（首高5.5センチ）	① 重久 白落墓地 ② （年銘なし） ③ 高221センチ
④ 碑文 （右）宝塔 （左）層塔（ともに刻銘不明） 税所氏の始まりは後一条天皇の御世。 税所篤如が曾於郡の地に下ったのは治安元年（二〇二二）。その後文明十五年（一四八三）島津忠康を帖佐城に攻めた一戦に敗れた時の人、税所篤貞・篤員の墓である。現在地西方山上二〇〇メートル重久篠ヶ迫四五八六一番地から牧内共同墓地納骨堂建設と同時に此処に移建す。 （注）国分郷土誌より抜粋せしもの。曾於郡はそのくいと読み今の国分市東麓ノ山を中心とする一帯である。 昭和六十一年九月吉日 川畑満雄	④ 「節慶田忠大禅伯」の刻字。



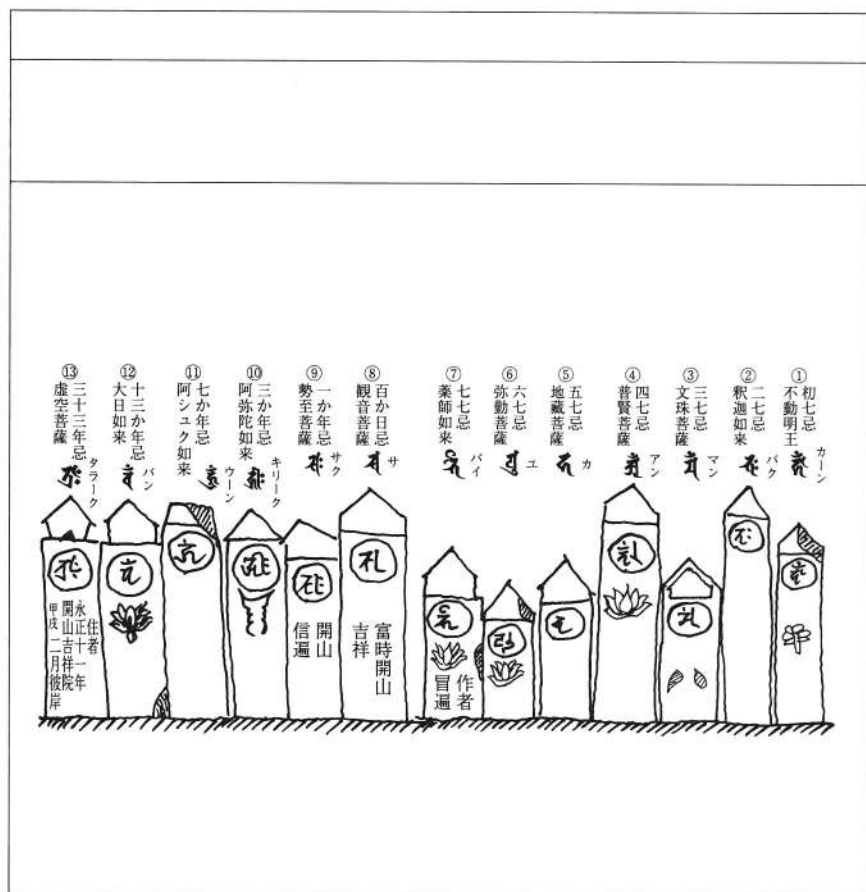
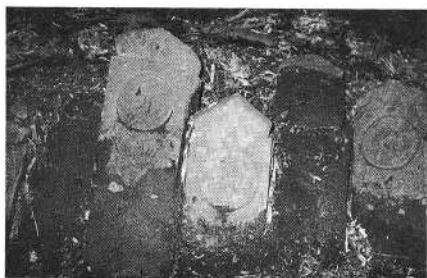
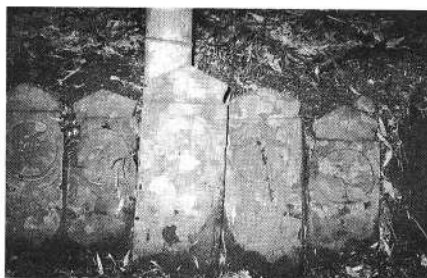
23 石仏（座像・首なし）	18 タッチョ墓群
① 岩田墓地 ② （年銘なし）	① 龍尾ヶ岡墓地
④ 「忝奉建立 女相中」の刻字。	⑤ タッチョ（塔頭）ヶ岡は一般的な墓地ではなく由緒深い場所である。 （無縫塔） 享和二年癸亥年閏正月廿八日寂（一八〇二） 高 七五センチ （右側） 法印 覺音大和尚位 心 実宗貞真上座 無銘 高 一六〇センチ 心 一京常心居士 祿庵妙樹大姉 高 一四二センチ 飲翁妙喜大姉 裡山溪屋上座 高 一四〇センチ （左側） 南庵浄江上座 祿庵妙樹大姉 高 一六二センチ

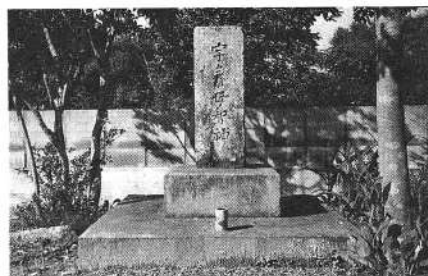


27 石仏（庚申地藏？）	25 石仏	24 石仏
① 重久59（岩戸） 本田チヨ宅	① 慈恩寺跡 ② 天明二年壬寅(1782) 二月十八日	① 重久689 鶴丸輝夫宅 ③ 高70センチ
⑤ ④ （刻銘なし）。 カンヌキ（貫抜）の瀬戸に通ずる旧道入り口右側にある。 昭和の初めまでは現在地より下方（南東）にあった。 （後背上部を欠く）。	⑤ ④ 「活岩竜祝」の刻字。 昭和十五年後藤良雄氏ら発掘。	⑤ ④ （刻銘なし）。 念仏寺関係のものと思われる。

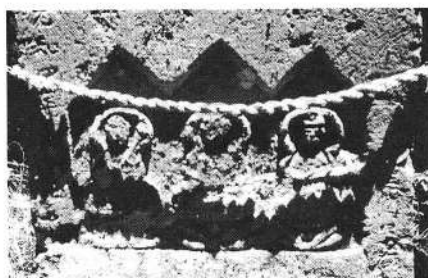


26 板碑 (十三仏)	32 田の神像
① 剣之字都 吉祥院跡	(田の神舞型)
⑤ 十三仏は初七日から三十三回忌までの一三回を供養するた めに造立し、梵字はそれぞれの仏の意味を表す。 「吉祥院住職 開山 信遍 豊後迫戦死者供養 五世 融遍 中興 頼遍 八世 覺遍 慶長九年金剛寺開山 (一六〇四) 〃 慶長十年 逆修墓 (一六〇五) 二十三世 珪嚴 寛保三年 (一七四三) 二十九世 世遍 三十一世 盛恭 天保六年 (一八三五) の刻字。	① 剣之字都町3-2 友の湯温泉前
	② 昭和十一年 (1936) 十月十七日
	③ 高120 ^{センチ}





37 宇気母智神碑	33 田の神像（大黒型）
① 道場口公民館 ② 明治九年丙子（1876）三月吉日 ③ 高95^{センチ}	① 重久公民館 ③ 高77^{センチ}
④ 「宇気母智神」の刻字。	⑤ ④ （刻銘なし）。 大黒の持つコツチがメシゲに変わったただけ。 左手は稲束を持つ。



44 なぞの石座像（三体）

- ① 牧神 妙見神社
- ② 元和四年□□月（1618）
- ③ 高50_{センチ}

④ 「満田七右衛門」の刻字。
⑤ （右）合掌、（中）？、（左）棒？を持つ。なお、同神社には、ほかに左記の石造物がある（写真はなし）。

41 山神碑（石祠）

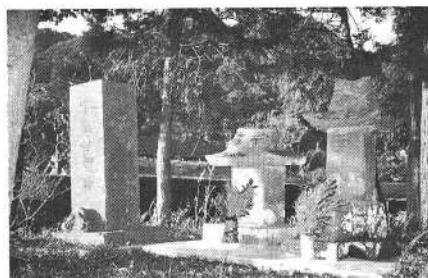
- ② 天保拾一年（一八四〇）
- ③ 高一二〇_{センチ}
- ④ 「奉寄進 牧司 山下傳七 右同 中條伊右衛門 本田金右衛門」の刻字。

42 宇気母智神（石祠）

- ② 昭和三十二年（一九五七）旧四月三日

43 石馬像

- ② 昭和二年（一九二七）七月二十五日
- ③ 高三〇_{センチ} 全長五六_{センチ}
- ④ 「奉納 西田茂二 石工 川畑武雄」の刻字。
- ⑤ 広瀬の石馬像との比較



39

38

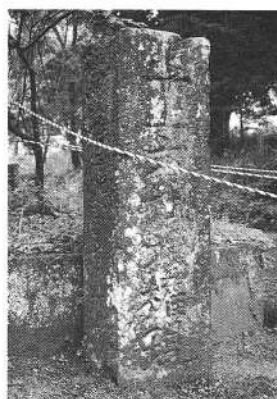
45

39 宇気母智神碑	38 宇気母智神碑(石祠)	45 火の神
② 明治九年丙子 (1876) 九月九日 ③ 高112^{センチ}	② 明治二年己巳 (1869) 三月十一日 ③ 高80^{センチ}	① 止上神社 ② 大正九年 (1920) 十一月十八日 ③ 高115^{センチ}
④ 「宇気母智神 止上郷中」の刻字。	④ 「妻□□相中」の刻字。	④ 「斎火武主比命 奥津日子神 奥津比賣神 秋葉大神 荒田彦四郎建」の刻字。



(故本田潔氏撮影)

49



49 石祠	48 石柱（鳥居・残欠）
① 尾牟礼山山頂 ② 享保十八年（1733） 十一月二十八日	① 止上神社 ② 寛延二己巳（1749）正月廿日 ③ 高123^{センチ}
⑤ ④ 「住僧覺遍」の刻字。 止上神社は初め尾牟礼山に鎮座と伝えられ、今新たに一石（神）殿を再建、六所大権現を崇敬するところである。	⑤ ④ 「止上神社大権現 覺遍」の刻字。 もとの鳥居の石材を利用したもの。 *この鳥居は宝永四年（一七〇七）の大地震で倒れたという記録が見えるので、その後の建立であろう。 *石材は関之坂石という。



47 道標（一里塚石柱）

- ① 重久616-1（道場口）吉永稔宅
③ 高96センチ



⑤ 明治十年丁丑の戦乱で亡失したので、県は明治十一年十月から、改めて実測して標柱を再建した。
明治二十九年県道「浜之市東襲山線」が全通した。この線は浜之市から清水を経て重久、田口、霧島神宮南下東多羅を経て宮崎県西嶽に通ずる道である。



56 墓石（百石墓） ① 剣之宇都公民館西の墓地	55 墓石（島田民部左衛門墓） ① 岩戸 龍尾ヶ岡墓地 ② 宝永六丑（1709）八月初四日 ③ 高65^{センチ}
⑤ 内部に仏像あり。	④ 「月光良圓居士 好山妙玉大姉 島田孫十郎 父母」の刻字。



65 石碑	53 墓石（残欠）
① 剣之字都44 吉永政秋宅 ② 明治二十二年己丑（1889） 正月廿二日	① 止上神社
⑤ 「金山毘古神 金山毘賣神 火産霊神」の刻字。 剣鍛冶屋金床跡。	⑤ ④ （刻銘不明）。 （伝）富岡織部之助首塚。



57 墓石（覺遍の墓）

- ① 止上神社の東南
- ② 明和四丙戌（1766）六月晦日
- ③ 高130^{センチ}

萩原中
* 稲元盛秋氏管理

川越武兵衛
李田藤左衛門

山下□□□
山下小藤次
高橋仲左衛門
日性□□
淵脇李右衛門
浅谷主右衛門
浅谷治右衛門

奉寄進
碑文

④ 「七十八年 稲元氏」の刻字
⑤ いほの神様でもある。
覺遍の身長は一五九^{センチ}といい、その物差しが残されている。



63 60 64 62 61

61ほか 乗林寺石塔群

① 乗林寺跡

63	60	64	62	61
秀義 幸久 快精 快悟 兼海 海在 教忍 頼善 覚翁 乗林寺開山先師代々當寺住僧深亮坊覚遍 頼盛 快春 泰運 隻仙 賢周 頼喜 盛純 昌雄 の刻字	寛保三年癸亥 禪智坊 覺隆 俗姓 稻元 乗林寺住覺隆 五月二十七日 年二十八	□海 覚翁 賢周 覚遍 □存 頼盛 頼喜 元禄五年 □忍 快春 盛純 賢周 □善 盛忍 昌雄 四月七日	元禄十年 大月覚主 敬白 心月妙等 六月廿三日 (一六九七)	〔乗林寺住盛純〕 宝永二年乙正月□□日(一七〇五)

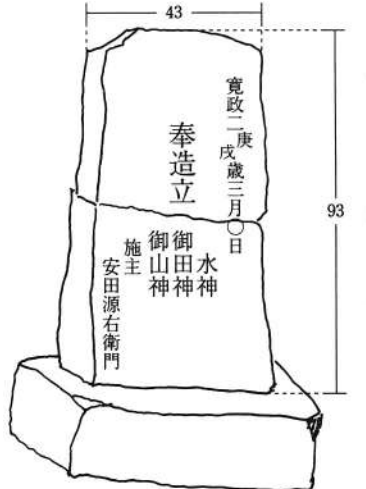


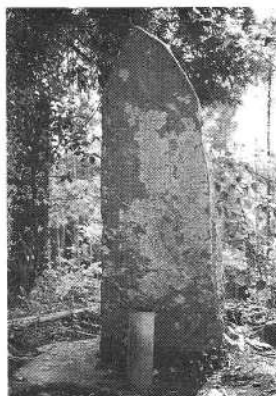
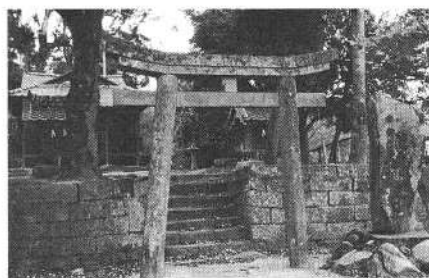
74 石敢当	68 自然石	67 記念碑
① 重久739 櫻井純行宅 ③ 高60センチ 幅30センチ	① 止上神社 ③ 高57センチ 幅53センチ	① 止上神社
⑤ ④ 「石敢当」の刻字。 石垣にはめ込む。	⑤ ④ (伝) 大隅神の墓。 (刻銘不明)。	④ 「本地堂舊跡 明治百年記念 昭和四十三年二月十八日発掘」の刻字。



76 田の神像 (座像型)	75 五輪塔 (残欠)
① 市野々 道路工事で前方に移転 ③ 高73センチ	① 河内公民館裏
⑤ 手の穴に小さな花を挿していた。 顔面は磨耗、後ろ姿は袴。	⑤ ④ (刻銘不明)。 徳光神社 (トバツサア) からいもの神様ともいわれる。



80 豊受神碑	79 三神の碑
① 河内公民館裏 ② 明治三十一年旧閏 (1898) 三月三日 ③ 高76^{センチ}	① 薄木片枝新田 (旧安田新田) ② 寛政二庚戌歳 (1790) 三月〇日 ③ 高93^{センチ}
④ 「豊受大神 川原谷郷中立之」の刻字。	⑤ 安田氏は 清水の人。 ④ 「奉造立 □水神 御田神 御山神 施主 安田源右衛門」の刻字。 



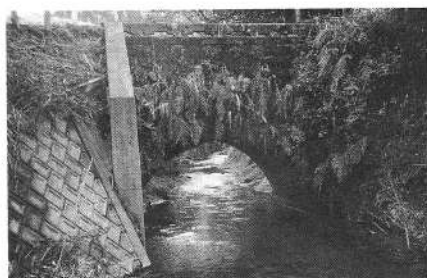
86 鳥居 (明神鳥居)	81 豊受比売神碑
① 川原大山祇神社 ② 享保十五年庚戌 (1730) 八月吉日 ③ 高350センチ 幅220センチ	① 川原黒石 ② 明治三十年 (1897) 旧三月十日 ③ 高115センチ
④ 額束の表裏に「山王」と「年号」を刻字。	④ ⑤ 「豊受比賣大神」の刻字。 昭和五十七年四月十日十文岳から移設。



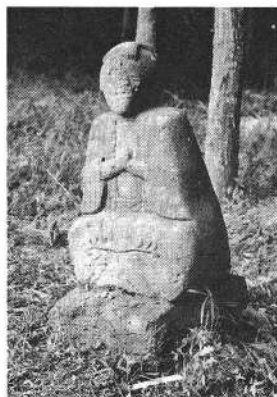
91 89 90 88



88ほか 灯籠	85 月輪塔
① 薄木大山祇神社 ② 明治廿八年（1895）旧八月廿八日	① 夕岸橋の先600^ル ② 正長二天（1429） 十一月十二日 ③ 直径39^{センチ} 幅11^{センチ}
91 石碑（欠損） 明和八年卯（一七七二）四月吉日 *昭和二十七年ごろは観音祭や宇氣母智祭が行われたようだ。	④ 「願主 成金大法□□」の刻字。 ⑤ きれいな薬研彫りの梵字で、表はバン、裏はアが彫つてある。



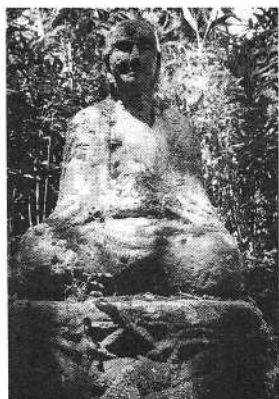
101 石橋（小瀬戸橋）	92 馬頭観音碑（自然石）
① 木原牧内 ② 大正十五年八月（1926） ③ 全長 7 トル	① 牧内公民館 ③ 高40^{センチ} 幅27^{センチ}
⑤ 石工の名は不明だが、このりっぱな石橋は大切にしたいものである。	⑤ ④（刻銘なし）。 牧内のバトカンサアと呼ばれる。

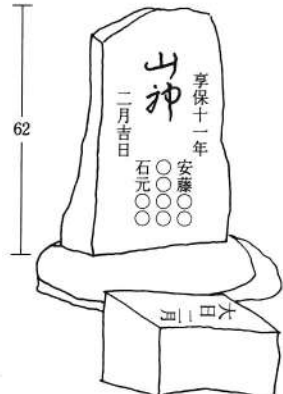


98 石像 (女人石像)	97 石敢当	93 山神碑 (石祠)
① 木原市営住宅西隣 杉林の中 ③ 高86センチ 幅48センチ	① 木原中学校裏門口 ③ 高56センチ 幅22センチ	① 上木原 ② 安政二年 (1855) 卯三月
⑤ ④ (刻銘なし)。 心中観音と呼ばれる。	⑤ ④ 「泰山石散當」の刻字。 路上に突き当たり。昔は大型のものがあつた。	③ 高65センチ 幅40センチ ④ 「岡山神社 木原方限」の刻字。



105 田の神像 (田の神舞型)	102 山神碑 (石祠)
① 本戸 (真谷) 楠元フクエ宅南 ② 大正十四年 (1925) 十一月 ③ 高90センチ	① 本戸 (真谷) 瀬戸口隼雄宅 ② 安永三年 (1774) 十一月吉日 ③ 高110センチ
④ 「楠元八郎左衛門 国分村川跡 彫刻人墓石屋 花牟禮精助」の刻字。	⑤ 五個の丸い石が中に入っている。 碑文 唐仁町 小川 福島村 宮原藤七兵衛 前原弥八左衛門 楠元甚四郎 吉田與次右衛門 前田與八 家村助左衛門 久保田 中村休兵衛 次郎左衛門 松山 右衛門 德重藏衛門 前田德左衛門 〇〇〇 〇〇〇 古藤小三兵衛



106 石像（前田猪之助の墓）	103 山神碑（自然石）
① 本戸 ② 元文四年（1739）二月七日 ③ 高80センチ	① 本戸（市境） ② 享保十一年（1726）二月吉日 ③ 高62センチ
④ 「山貞春信土 国分 前田猪之助」の刻字。	④ 「 山神 安藤□□ 石元□□」の刻字。 ⑤ 土台になっている石に「大日 二月」の刻字が見える。 



104 天狗神碑

- ① 本戸（市境）
- ② 昭和九年（1934）十二月七日
- ③ 高48^{センチ}

④

「大天狗小天狗四十八天狗神様

松原□□前田良右衛門」の刻字。



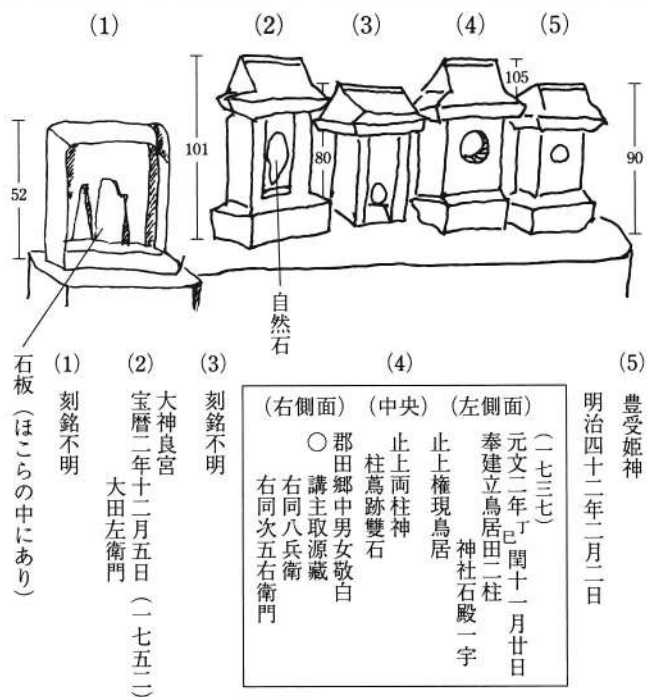


109 灯籠群	108 灯籠
① 熊野神社	① 熊野神社 ② 寛文五年乙巳（1665） 三月十九日 ③ 高170 ^{センチ}
安永十年辛丑二月廿九日（一七八一） 寶曆三年四月廿日（一七五三） 寶曆三年四月廿日（一七五三）	④ 森山新右衛門外氏名あり。 大田氏は代々大宮司職。



109 石塔群

① 熊野神社



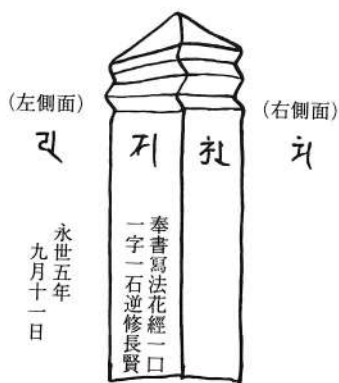


125 板碑（方柱板碑）

- ① 台明寺芭蕉田
- ② 永正五年（1508）九月十一日
- ③ 高さ110センチ

④

「奉書寫法花經一字一石逆修長賢」の刻字。



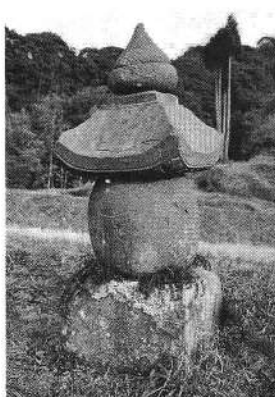


114 116 118 120 121 122
115 117 119

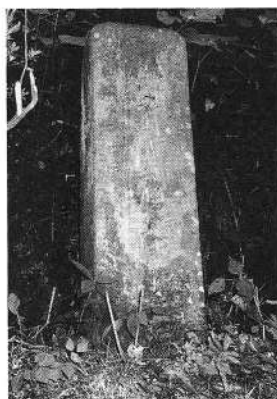
114ほか 台明寺墓地僧侶墓群

116	117	118	119	120	121	122	123
「権少僧都良琴 文政元戊寅年九月朔日（一八一八） 同年七月六日終隠雲□五十三忍	「権大僧都法印良永和尚塔 享和三癸亥歲七月初六日（一八〇三） 縁起之寄附 静念房知眞 理現房知覺	「権大僧都法印良義塔 寛政十戌午歲九月二十四日（一七九八） 寄附 良永	「権大僧都法印憲林 寛政四年子五月八日（一七九二）	「當山十二世権大僧都法印覺淳 文久二壬戌三月廿九日（一八六二）」	「法印覺岑大和尚 宝永四年九月二十五日（一七〇七） 臺明寺住僧	「当寺二十四世 法印□□」	「前住當山中興第二世権大僧都 法印寂應大和尚位 元文三戊午天七月初十日（一七三八） 生國筑後 の刻字

114 「法印憲徵塔 萬延二辛酉歲正月十八日寂（一八六一）」 *一番奥の石碑 「奉讀誦法華經……碑」 恭以□□□□壽終□千歲霜 者定 權花 以 興倫 □依五通自在神佛被漂生死海之浪女 如□□ 輪王亦□有意風 以誰不拾昆山 寧端直□□不□法界海一□耶 抑妙法蓮華經如則三千大千郎法依報有□□ 融不思議是各妙法 大乘因者諸法實 乘□者諸法□相本有因果□称蓮華經 □皆是金色佛体一字則一□字則十佛郡□ 六万九千三百八十余□体也 況数□ 文字更不可勝計 故□□信妙法 無不滅罪口喝蓮花元不來善仰 願□方巨莫大也 寿命長遠後生善処而已 奉読誦法華經王	115 土縁 謝十万億利□裏速到猶為 追福今月今供養三宝一塔造営乃 至 享和三年亥十月四日敬白（一八〇三）」 「竹林山第十一世紫雲院法印□□ 天保十一年子九月初五日（一八四〇） 壽六十四歳」



130 摩崖仏（アンダドン）	113 宝塔的五輪塔
① 台明寺984 山崎トシ子宅北 ③ 高74^{センチ} 幅92^{センチ}	① 台明寺跡 ② 延宝八年（1680）七月十二日
⑤ ④ （刻銘なし）。 損耗がひどく不明瞭。	④ 「法印盛□」の刻字。



127

135 記念碑(島津斉彬公御茶水の碑)	127 山神碑
① 郡田川沿い道路上 ② 皇紀二千六百年(昭和15年) ③ 高120^{センチ}	① 台明寺 ② 元文二丁巳(1737)九月吉日 ③ 高90^{センチ}
④ 碑文 島津斉彬公御茶水 嘉永六年十二月二十日(一八五三) 日吉山王御参拝之際 御料 照國神社宮司河崎正直謹書 社掌渡辺休五郎 氏子中	④ 「日吉山王 地主大権現 祈願主 地主三吉 行年六十七歳造立之」の刻字。 ⑤ 『三国名勝図会』に「地主園」・「日枝神社の旧地」の記録あり。



132

131

134 記念碑 (貢御古跡青葉竹の碑)	132 馬頭観音碑(石祠)	131 宇氣母智大神碑 小国皇大神碑
① 日枝神社 ② 大正四年 (1915) 十一月七日 ③ 高167センチ	② (年銘なし)	① 日枝神社 ② 明治八年亥 (1885) 四月八日 ③ 高100センチ 幅26センチ
④ 貢御古跡青葉竹の碑 金二円寄附 清水村 村長 神崎磐松 日枝神社 社掌 渡辺休次郎 氏子総代 中別府文右衛門 清水七〇 永吉金之進 前田傳助 渡辺喜四郎	⑤ 国分市内の馬頭観音関係をあげると次のようになる。 石馬像 二基 馬頭観音碑 十五基 保食神碑 十三基 宇氣母智神碑 十六基	④ 「宇氣母智大神 小国皇大神」の刻字。



136 記念碑

- ① 台明寺981-1 久保アサコ宅前
- ② 昭和五年（1930）三月廿四日
- ③ 高147センチ

⑤ ④
「開宗之碑」の刻字。
碑文

郡田

当山之路真宗之開祖タル地主園喜助氏ハ明治八年日向國
山田村園田龜太郎先生ヲ□ヒ御親佛下旨ヲ奉願セシ処大
ニ贊同ノ意ヲ表シ宜シク請合下サレタリ喜助氏ハ地主園
傳右衛門前田新五清水助左衛門米滿畝助永吉源右衛門等
話シ合ヒ皆贊同シ翌九年十一月京都ノ御本山ヨリ御下旨
ノ御沙汰下リ茲ニ日向國內場佛飯講ト名ヅケラレ今日ニ
及ベリ

発起人 寺元 前田三之助 外門徒中



142 層塔（三重塔）	141 層塔（三重塔）
① 日枝神社社務所奥左 ③ 高170^{センチ}	① 日枝神社社務所奥右 ③ 高180^{センチ}
⑤ ④ （刻銘なし）。 比較的新しい。	④ （刻銘なし）。



155 田の神像（文字型・自然石）	154 田の神像（神像型）
① 中台溝 ② （年銘なし） ③ 高150センチ	① 郡田218-4（久保田） 久保田正幸宅角 ③ 高96センチ
⑤ ④ 月輪に「御田神」の刻字。 隣に保食神あり。	⑤ ④ 「庚申講」の刻字。 後ろにエイを彫る。シャク・ハカマを持つ。



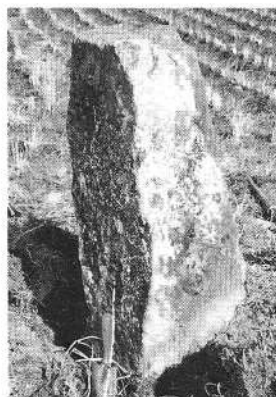
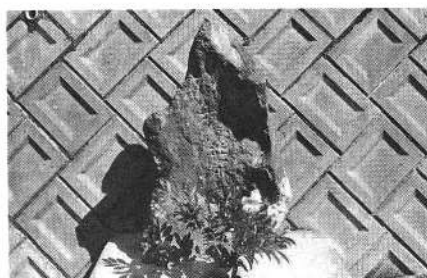
159

158

161 田の神碑 (文字型・自然石)	158 灯籠	156 保食神碑 (自然石)
① 国分中学校正門前 ③ 高42センチ	① 郡田227 (久保田) 大紋久宅角 ② (年銘不明)	① 中台溝 ② 明治七年八月十日 (1874)
④ 「田ノ神」の刻字。	④ 「奉寄進 観音佛宝前 久保田村女中 十八夜待施主」の刻字。 ⑤ 月待は十八夜・十九夜・二十二夜・二十六夜など江戸時代に盛んになる。月の出を祭(待)る信仰といわれ、それはほとんど女人によって信仰された。普通は文字塔で石仏は珍しい。隣159は観音仏様であろう。	④ 「保食神」の刻字。 ⑤ 三面(下部)はみごとな薬研彫りだが、欠けて不明瞭。



163 水神碑（自然石）	162 水神碑
① 弟子丸池 ③ 高50センチ	① 羽坂橋 ② 大正十五年(1926) 九月二十一日 ③ 高92センチ 幅27センチ
④ 「水神」の刻字。	④ 「水神」 此羽坂橋横山茂氏寄付 羽坂組合建設」の刻字。



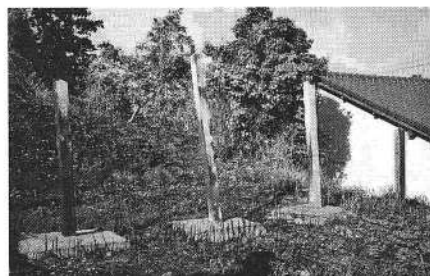
165 火の神碑 (自然石)	164 水神碑 (梵字)
① 清水1324 玄亀庵 藤浪良信宅前 ② 昭和五年三月 (1930) ③ 高94センチ	① 三郷 (北小北東) 黒田ワカ宅北50㍍ ② 元禄七甲戌天 (1694) ③ 高65センチ
④ 「秋葉神」の刻字。	④ 「眞應上人 建者 前田□□」の刻字。 ⑤ 眞應上人は元禄五年九月廿一日七十四歳で入定し、元禄十一年戊寅九月廿一日八十歳で寂滅。 (裏面) 元禄七甲戌天 眞應上人 建者前田□□ 梵字(バン)



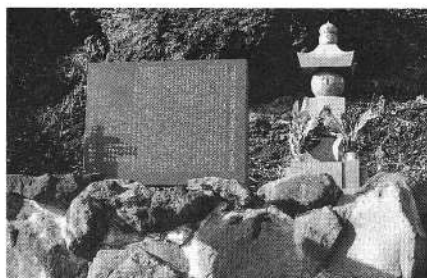
171 石敢当 (長方柱型)	169 宇氣母智大神碑 小國皇大神碑	166 火の神碑 (自然石)
① 清水 1374 安田商店石垣 ② 元文五年庚申 (1740) 十一月吉日 ③ 高130^{センチ} 幅32^{センチ}	① 三郷公民館 ② 明治廿三年 (1890) 十二月十八日 ③ 高116^{センチ}	① 清水 ② 明治卅一年 (1898) 旧三月廿三日 ③ 高97^{センチ}
④ 「石散當 安田□□」の刻字。 ⑤ 石散當の文字は安田氏が神主さんの教えで彫ったもの。 * 県下で2番目に古いもの。	④ 「宇氣母智大神 小國皇大神 坂之上郷中」の刻字。	④ 「小國大神 内馬場中」の刻字。 ⑤ 普通、小國神社の祭神は秋葉神である。



175 明神鳥居	173 記念碑
① 南方神社 ② 享保十四己酉年閏（1729）九月吉日 ③ 高360^{センチ} 幅200^{センチ}	① 国分中学校裏門 ② 紀元二千六百年 （昭和15年） ③ 高176^{センチ} 幅40^{センチ}
⑤ ④ 額束の表裏に「諏訪宮」と年銘を彫る。 阿久根市南方神社の鳥居は万治二年（一六五九）建立。	④ 神代聖蹟智尾 碑文 「此ノ處ハ建久年中弟子丸氏智尾神社ヲ創祀セル遺址ニ シテ□□三年島津氏ノ弟子丸氏ヘ與エタル文書ニ又智 尾ノ名見ユ蓋シ智尾ハ此ノ付近一帯ノ占名ニシテ神代 高千穂ノ遺名ヲ存スルナリ 清水村及同教育會」の刻字。



181 墓碑（島津忠将の墓）	174 記念碑
① 清水楞厳寺跡墓地 ② （なし）	① 北辰神社 ② 昭和五十五年(1980)十二月吉日 ③ 高2㍓
⑤ 忠将（忠良公の子）・彰久（忠将）の墓があった。 忠将は永禄四年（一五六二）福山で戦死。 法名「心翁大安大居士楞厳殿」。	④ 「塩井之水 浜田良知外一同建立」の刻字。



180 記念碑

- ① 清水楞嚴寺跡墓地
② 昭和六十三年七月 (1988)

④ 碑文

弓道薩摩日置流祖

薩摩日置流弓道指範師祖東郷重尚代々の墓碑

東郷領主渋谷東郷家十六代重尚ノ長子重尚ハ一五八六年東郷を出て曾木ヲ
經テ末吉ヨリ移リ更ニ国分ニ転ジ島津義弘公ノ臣トナレリ関ヶ原ニ破レ牛根
ニ在リシ浮田秀家ノ家臣ニテ弓ノ名手本郷伊予守義則ヲ師トシテ家久公ト
俱ニ学ビタルニ始マル重尚壯年ノ時ヨリ俊芸ノ氣象高く數年ニシテ蘊奥ヲ
極ムヤガテ義則病没ス其ノ後家久公重尚ヲ從ヘ上洛ス家老伊勢貞昌ヲ使ト
シテ日置彈正忠正次ノ正流ヲ伝ヘタル吉田一水軒印西ヲ伏見屋敷ニ召シ親
シク弓術ノ奥義ヲ問ヒ遂ニ重尚ヲシテ入門セシメラル是ヨリ重尚日夕鍛鍊
シ遂ニ日置流ノ蘊奥ヲ伝ヘラレ初メテ薩摩弓術ノ師範ヲ命ゼラレル其妙技
ノ數々ヲ記セシ名矢記ハ明治十年ノ兵火ニ罹レリ爾來重持ニ至ルマデ式百
數十年ニ亘リ弓術ノ師範役ヲ勤メ一流一派ニ拘泥セズ廣ク諸流ノ粹ヲ抜キ
研究鍛鍊シテ世々藩主指南ヲ勤メ側ヲ藩内幾十萬ノ門弟ヲ養育セリ伊集院
平田高田三派ノ弓術指南家モ此ノ門ヨリ出ズ二十八代藩主島津齊彬公ハ屢々
十二代実敬ヲ召シ鎮脇ノ射法ヲ参酌シテ之ヲ腰矢ト名付ケ組弓進退押詰
等ノ射法ヲ創設セラル弓術及ビ槍術ノ師家ノ貫キ得ザル鉄板ヲ只一矢以テ
貫ク等世人神業ナリト称ス愛之進重持ハ慶応元年薩摩留學生トシテ英國ニ
留学セリ明治ノ昭代ニ方忝クモ吹上御苑及ビ袖ヶ崎島津邸ニ於テ腰矢數失及ビ
貫徹ノ射術ヲ天覧ニ供セリ明治四十年十月二十九日皇太子殿下磯島津邸ニ
於テ弓術御台覧前県庁ヨリ弓術由來書差出スベキ旨從四位東郷重持ニ掛合
相成諸伝記記録ヲ取調ベ清書ノ上県庁ニ差出シタリ大正九年三月皇太子裕仁
親王殿下大正十一年英國皇太子殿下磯島津邸ニ於テ台覧ニ供セリ昭和三十
九年東京オリンピックデモンストレーショントシテ腰矢ヲ演ジ内外ノ
絶賛ヲ拍セリ重持ノ高弟溝口武夫郷里出水ニテ腰矢ヲ継グ現今ニ至レリ

重持代々ノ墓碑ハ昭和二十年ノ戦災ニ逢イイシヲ昭和六十三年七月再建ス

県弓道連盟会長

志々目義宏

日置島津家

島津久欣

集成館副館長

田実 勇

重持之高弟範士

溝口武夫

弓道範士

伊藤信夫

腰矢出水保存会長

恒吉 雄

十一代実徳高弟之子孫

上原 忠

十二代実敬 時

十三代重持 愛之進

島津歳久公ニ殉死セシ スマ 鉄二 川上ハル

木脇民部祐春後裔斉彬久光公曾々孫工学博士 木脇久智



185 石柱（北山神社・小畑）

- ① 新町759-6（中台）内野繁宅隣
- ② 明治五年壬申（1872）三月四日
- ③ 高84^{センチ}

④

「北山神社

本社本村平隈江御遷宮

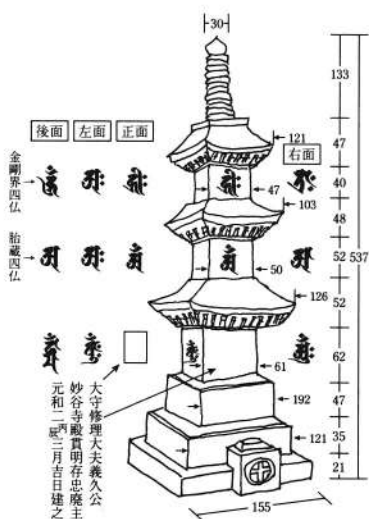
奉鎮 内門之

林右衛門」の刻字。



186 層塔（三重塔）

- ① 金剛寺跡
- ② 元和二年丙辰（1616）三月吉日
- ③ 高537センチ



⑤ ④

「貫命存忠庵主」の刻字
石柵に彫る刻銘

當寺十五世法印覺英
時享保四己亥年九月吉日造立（一七一九）

肥後周右衛門 監
家村源四郎 住意
平田〇右衛門 宗
岩切与右衛門 信蔵
与右衛門
喜左衛門
野村〇五左衛門 安繩
〇田吉左衛門 信安
坂木休右衛門 清栄



187 層塔

- ① 法隆寺境内
- ② 寛政三亥天（1791）四月吉日
- ③ 高326^{センチ}

④

「先祖代々

想檀中

為菩提之」と刻字。

*他に境内にある僧侶墓（写真はない）。

188 「當寺十四世中興□□

□和三天

□連社眼替上人□全大和尚」の刻字。

189 「當寺十三世

明和三丙戌歳（一七六六）

行蓮社□普性善和尚

七月十二日」の刻字。



193 方柱塔婆

- ① 旧市立図書館
② 暦應四季九月八日（1341年）

- ④ （側面）「暦應四季九月八日 第十三忌
（正面）南無阿弥陀佛
（側面）印阿弥陀佛」の刻字。
⑤ 橘木城跡の供養塔。



194 笠塔婆

- ① 旧市立図書館
- ② 建武三季丙子八月十五日（1336年）

⑤

（側面）「建武三季丙子八月十五日

（正面）南無阿弥陀佛

（側面）慮阿弥陀佛」の刻字。

* 南北朝時代橋木城攻防による戦死者への供養のために造立されたものである。



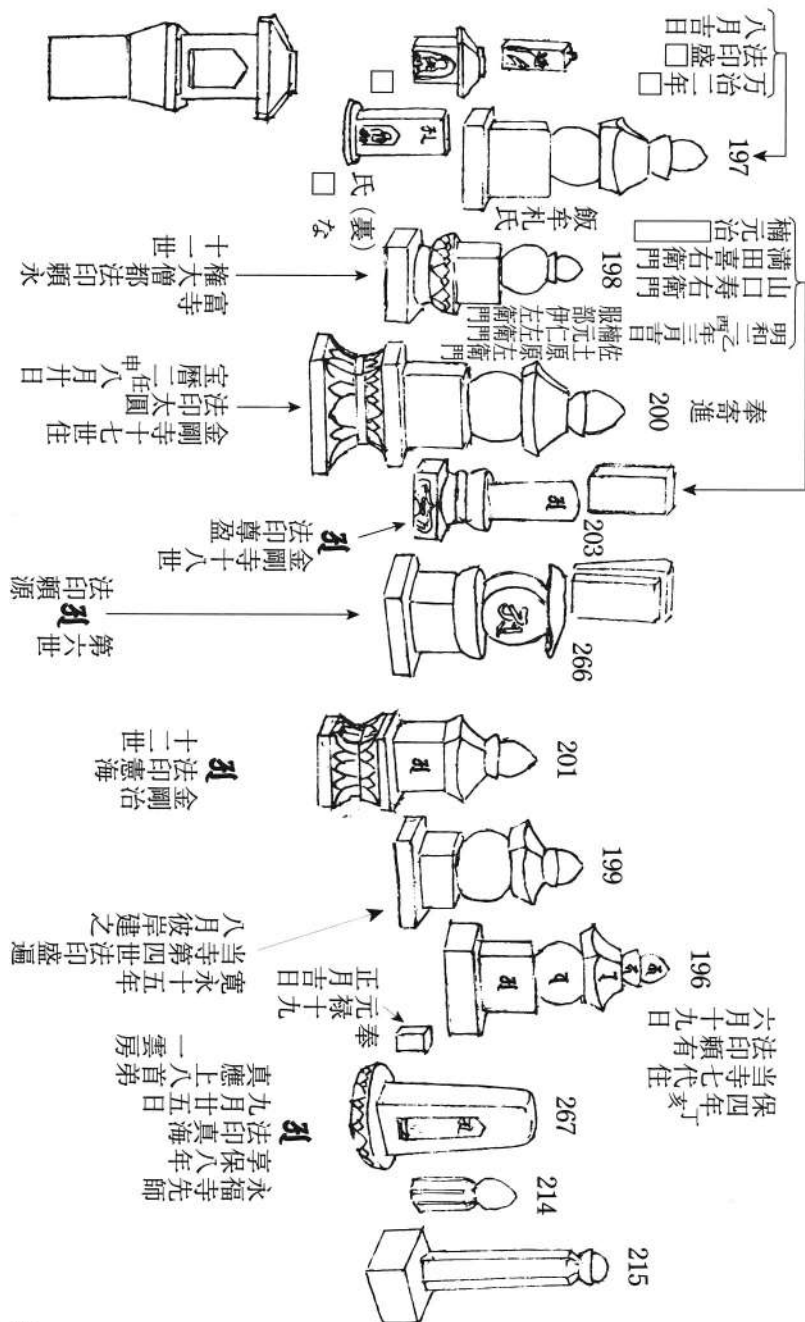
217 石塔（国分寺再造立の碑）	195 板碑群（残欠）
① 国分寺跡 ② 天正十年壬午二月（1582） ③ 高88^{センチ} 幅56^{センチ}	① 旧市立図書館
④ 碑文 国分寺再造立の碑 謹奉造立 大日本國西海道 隅州国分寺者古佛之靈地權化 之開基也然從伽藍藍草創以來 星霜歲久矣夫昔者大門鐘樓七 堂雖有之無于今依地趣本堂亦 朽故梁棟傾矣嗚呼有觀音妙智 力否爰藤氏安純企再造立勘十 方以遂本懷畢是則天下太平國 土豐饒家内安穩徑路也 天正十年壬午二月日 大願主 淵脇讀岐入道淨齊記之の刻字。	⑤ 板碑（残欠）には墨書あるも読めず。 *傘石（残欠）には正和の年号を彫る。 *五輪塔（残欠）には貞治三年（一三六四）の年号を彫る。

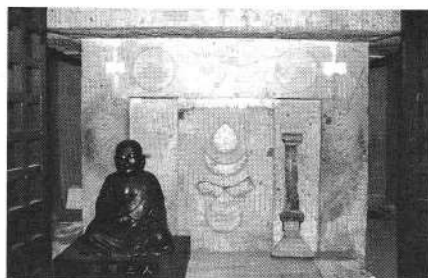


196ほか 金剛寺跡僧侶墓群

① 金剛寺跡

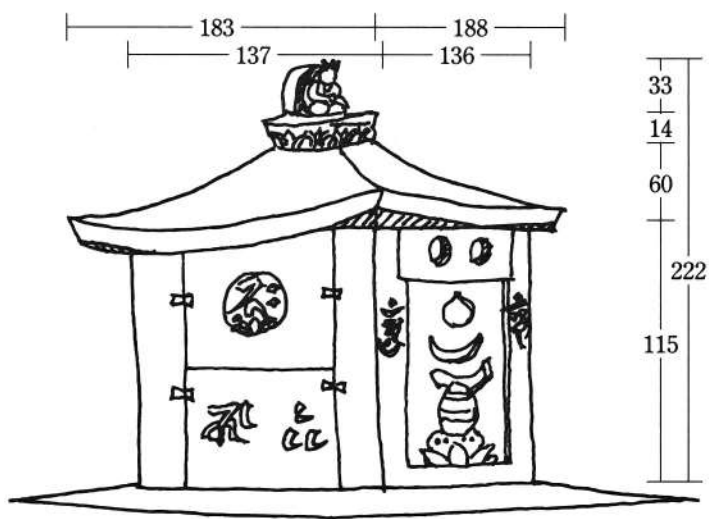
墓碑の図は次頁（八七五頁）に掲載





218 入定石室（真応上人石室）

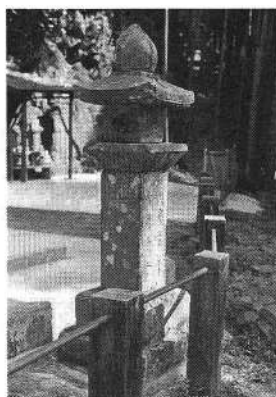
- ① 金剛寺跡
- ② 元禄五天壬申（1692）九月廿一日
- ③ 高222センチ



⑤ 元禄十一年九月二十一日八十歳寂滅
 （六年間生存）
 「法印権大僧都憲海和尚位」の位牌が安置してある。



九月廿一日		元禄五天壬申		



214 六地藏 (梵字)

- ① 金剛寺跡
- ② (年銘なし)

213 燈籠 (庚申塔)

- ① 金剛寺跡
- ② 貞享五年 (1688) 卯月十三日
- ③ 高152センチ

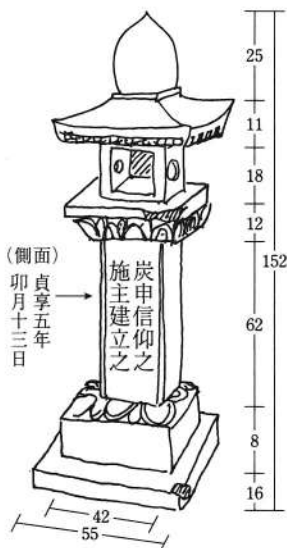
⑤



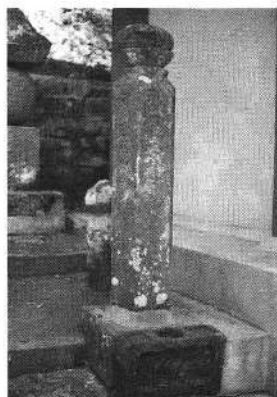
珍しい形態。
県下最古は石幢型では宮之城町荒瀬。
延徳二年 (一四九〇)。



④

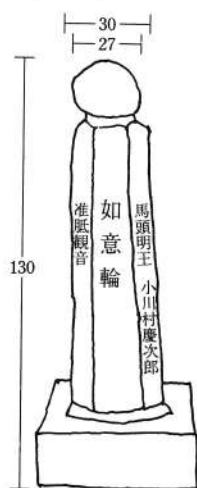


「庚申信仰之
施主建立之」の刻字。



215 石塔（六観音・梵字）

- ① 金剛寺跡
- ② (年銘なし)
- ③ 高130_{センチ}



⑤ 珍しい形態。

(ウーン) (キヤ) (キリーク) (サ) (ホ) (キリーク)



馬頭明王
普及於一
小川村慶次郎

十一面観音

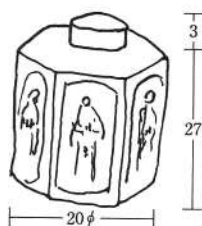
千手観音

正観音

准胝観音

如意輪観音

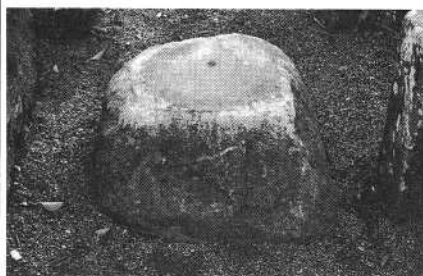
六地藏 (残欠)



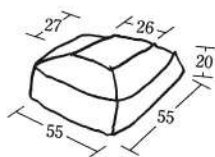
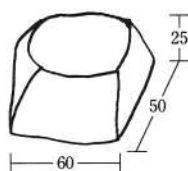
208 石塔群 (残欠)

① 国分寺跡

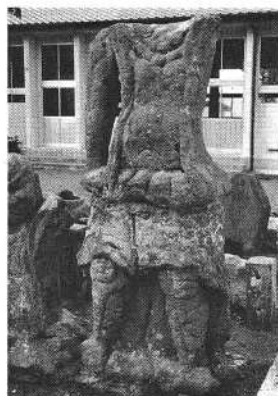
礎石 (残欠)



層塔 (笠石) 残欠



中央地区



210 仁王像（首なし）	209 仁王像（上半身）
① 国分寺跡 ② （年銘不明）	① 国分寺跡 ② （年銘不明）
④ （刻銘なし）。	④ （刻銘なし）。



216 石塔（六観音再興碑）

- ① 国分寺跡
- ② 永禄五年壬戌仲（1562）春彼岸吉日
- ③ 高107センチ 幅110センチ

④ 碑文

国分寺六観音再興碑

再興 桑國西海路隅州

国分寺観音大菩薩沙弥生正像者同
堂宇之脇從古有六観音像紛紛中絶
歳久矣依之隣里信男信女豈堪視其
処乎諸壇越励再造之志彫刻石像六
軀亦仰兼依此善修國家豊饒□□□
施主如意快樂常安常樂何疑有之□□
愿作畢語長編以聊述感応之□情焉
百億毫光成妙術鶴般变化現 茲容
(省略)

近澤叟当海□

大願主測脇安純

浄□禅門

各□□□□

□永禄五年壬戌仲春彼岸吉日作者深譽
堂守比丘永□敬白



207 206 205 204

204ほか 無縫塔他（僧侶墓）

① 龍昌寺墓地

「龍昌十二世

仁嶽堯和尚」

「大淵

享保十七壬子天十一月十日（一七三二）」

「慶応元乙丑極月八日（一八六五）

永泰前住□源 源志本師」

八角柱の碑文 龍昌寺墓地

「寛永六己巳十月二日（一六二九）

為前原孫兵衛尉 慈父、土佐守建之

奉造立六道能化地藏薩陀明王六尊

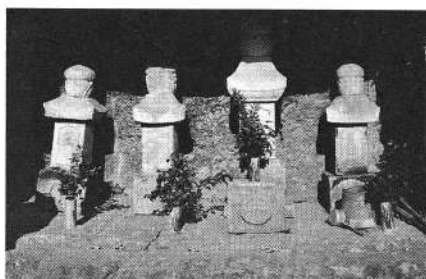
以伸供養者也焉此善宗榮居士得菩

提勝□遠品蓮□覺□者也伏願山報

四思下資六趣乃□□界群生同蒙利益者」



220 灯籠	219 供養塔
① 遠寿寺墓地 ② 元和二年（1616）八月初二日	① 中央2-3-2 野田永春宅 ② 天正十年壬午（1582）十一月
奉寄進 南無妙法蓮華經 石灯爐 (側面) 奉行 長田□□□ 今方□ 施主 喜見院妙□ □□□ 大工 □□□ □□□	④ 「奉修持聖觀音經一万八千卷」碑文 ⑤ (伝) 氏神 奉造立国分我居石佛 靈地権化開基也数百年 積日月霜浩久是 (仏坐像の彫刻) 莫我故科也 愁處 聖觀音妙智浮 願一切平等智一切□之入菩提心往生安樂園 淵開安地十萬奉迎 于時天正十年壬午十一月 施主安純敬白 此歲以遂造立奉□一□如是者也 *古石塔研究会故園田先生作成参照。国分寺跡にある石塔残欠との関係も指摘されている。



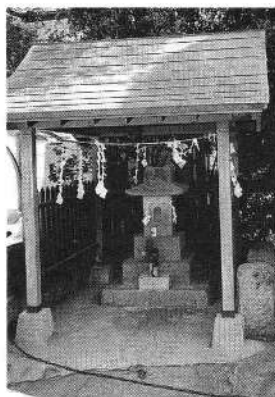
224 223 222 221

221ほか 墓石群

① 遠寿寺跡墓地

221 ⑤	222	223	224
山川石製 □此宝者 南無妙法蓮華經 真至道場 喜見院浩隆 逆修 慶長十二年丁未（一六〇七） 六月吉日	得入無上道 南無妙法蓮華經 圓信院妙蓮尊靈 追成就佛身 改號 慶長十二年丁未（一六〇七） 六月十八日	是人於佛道 南無妙法蓮華經 淨仁覺靈位 □定無古疑 慶長十二年丁未（一六〇七） 六月十八日	若有聞法者 南無妙法蓮華經 無一不成佛 悲母 妙俊靈魂位 慶長十二年丁未（一六〇七） 六月十八日

* 円信院殿妙蓮大姉は元龜三年（一五七二）
壬申十二月廿三日卒。

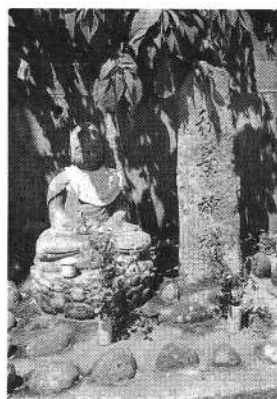


240 火の神碑	234 火の神碑	227 水神碑（自然石）
① 中央3-27-1 ロイヤルビル前 ② 明治十一年寅（1878） 旧二月十八日 ③ 高130^{センチ}	① 中央1-2-1 国分駅前 ② 昭和五年（1930） 十一月二十八日 ③ 高130^{センチ}	① 旧市立図書館角 ② 明治十年丁丑 （1877）十月吉日 ③ 高84^{センチ}
④ 「軻遇槌神 川跡町中」の刻字。 （愛宕神社の祭神でもある）。	⑤ ④ 「秋葉神社」の刻字。 碑文 工事委員 山口六郎 常磐熊蔵 石工 松元仲次郎 *立派な社殿である。	⑤ ④ 「水神」の刻字。 碑文 「堀此井也 三宅十右衛門 石切 本木嘉之助」 *石材は遠寿寺石。



236

235



231

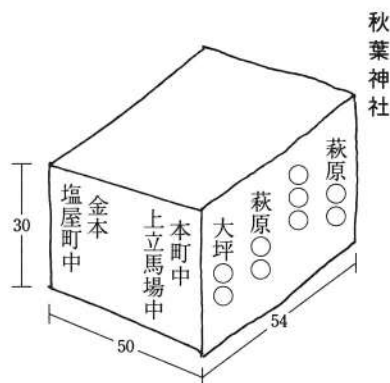
238

235ほか 火の神碑	238ほか 火の神碑
① 中央4-21-18 車田秋葉神社 ② 萬延元年申（1860）七月十日 ③ 高90^{センチ}	① ミヤタカンパニー倉庫前 ② 昭和三十一年（1956）八月朔日
236 左側の自然石は古い秋葉神であろう。 ⑤ アツカサアと呼んでいる。秋葉神社の祭神は火之迦具土神で火の神である。 ④ 「秋葉 車田郷中」の刻字。	⑤ ③ 231 石像（地藏菩薩座像） 高93^{センチ} 昔は常念寺にあったものを移した。 ④ 「秋葉神社 市長 石塚彦一謹書」の刻字。

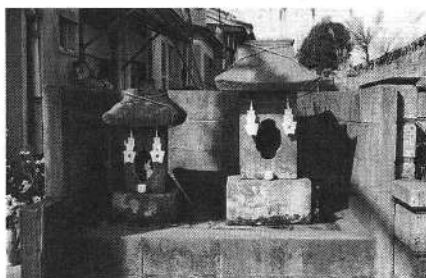


237 火の神碑（石祠）

- ① 中央3-12-47 永山酒造隣
- ② （年銘不明）



- ④ 「秋葉神社
本町中
上立馬場
金本
塩屋町中」の刻字。
この付近は塩屋町と呼んでいた。
- ⑤



242

243

242 火の神碑（石祠）	243 馬頭観音碑（石祠）
② 明治十七年（1884） 六月十八日	① 中央1-7-32 森本旅館横 ② 慶応四年戊辰（1866）五月吉日
④ 「小國神 久保馬場小路中」の刻字。	④ 碑文 奉建立 外山善助 宮原次郎右衛門 宮原良吉 外山金次郎 坂本□□ 宮原藏右衛門 矢野四郎兵衛 岩切善太郎 大迫四郎左衛門 小原平左衛門 矢野喜兵衛 坂本四郎左衛門 石塚市兵衛 藤山小平太 宇都市郎太 是枝清次郎 鳥丸猪之助 丸山嘉之助 仙太郎 次郎右衛門

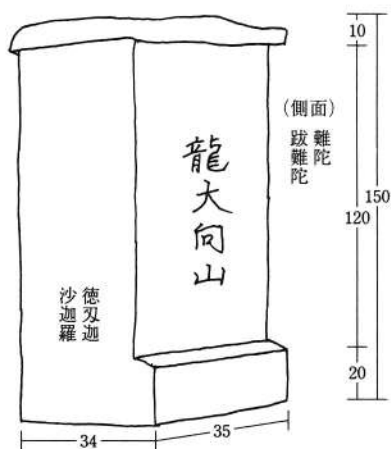


256 灯籠	247 石敢当	245 石敢当
① 若宮神社 ② 元禄五年壬申 (1692) 十一月吉日 ③ 高136センチ 幅27センチ	① 中央1-22-26 市来眞一郎宅前 ② 昭和三十年ごろ ③ 高42センチ 幅17センチ	① 中央1-8-42 新徳克巳宅前 ② 明治以前 ③ 高60センチ 幅26センチ
④ 「奉寄進 石灯籠一基 向花村 徳兵衛尉 敬白」の刻字。	④ 「泰山石散當」の刻字。	④ 「石敢當」の刻字。



257 水神碑

- ① 車田 秋葉神社
- ② (年銘なし)
- ③ 高150センチ



- ④ 「龍大向山」の刻字。
- ⑤ 性格は水神であろう。

八大龍王のうちの四神という。もう一基は行方不明。



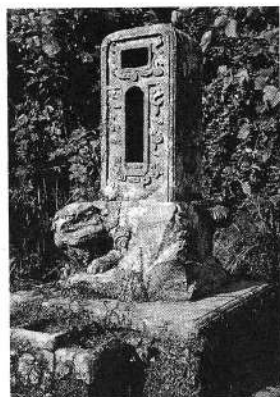
261 門柱（八角柱）	260 門柱（八角柱）
① 八坂神社	① 中央4-27-10 ② 享保八年暦（1722）癸卯年 ③ 高180 ^{センチ}
⑤ 明治三十二年府中より移転したという。 また、文政六年の道帳には「六地藏角より恵比須角まで」という項がある。 ④ （右側）「寅正月廿四日」の刻字 （左側）「享保七天壬（一七二二） 明治三拾二年 石□ 六月吉日 鵜木熊三郎 林常太郎 海江田小八郎 林嘉助 林 岩吉 林金次郎」の刻字。	⑤ 八坂神社の門柱261と関連づけられる。



264 墓石 (亀墓)	263 墓石 (服部英龍の墓)	262 エビス祠
① 龍昌寺墓地 ② 文化四卯 (1807) 五月十一日 ③ 亀の長さ80センチ	① 遠寿寺墓地 ② 明治三十八年(1905) 十二月二十六日	① 八坂神社境内 ② (年銘なし)
⑤ 昭和三四年八月八日改葬。 ④ 「津曲家先祖累代之墓 津曲清兵衛」の刻字。	⑤ 本名「有馬貞英」享年六十四歳。 明治初期に活躍した画家。西郷隆盛像や美人画を描いて有名。	⑤ ④ (刻銘なし)。 加治木石製。



272 山神碑	265 慰霊碑 (亀座)
① 伊勢神社 ② 寛政甲寅季秋庚戌 (1794)	① 金剛寺跡 ② 明治十四年 (1881) 一月十八日
⑤ ④ 「山神」の刻字。 昔は大きな石祠の中に納められていたものであろう。 碑文 新城山神廟宇銘 佐土原生 藤原祐彪 夫 新城者三州嶮山断岸聳天徑回雲門 頂□平溝澗潺湲粵 貫明公曾居斯傍 柱礎金□阻障如今猶存祇倚勝狀是時群 與固□宮山神祠為丹祈場 公家洪福國 昌也那疑歟而況隅陽人民之□□步之繁 □禍以追子孫 寛政甲寅季秋庚戌 徳持清登謹誌	⑤ ④ 「慰霊燈」の刻字。 石塚七十郎外多数の氏名を彫る 石工 西橋次左衛門 西南之役戦死者の慰霊燈。



278 墓石 (獅子座の珍しい墓)	273 山神碑
① 龍昌寺墓地山の上 ② 安永七戊戌 (1778) 八月二十九日 ③ 高140^{センチ}	① 伊勢神社 ② 明治四十二年 (1909) 十二月
④ 「禎祥院桂岩恵芳大姉」の刻字。 ⑤ 台座に獅子の彫刻。	⑤ 石祠の中には仏像と銅鏡が入っている。左側に阿夫利神社がある。 祭神は大山祇神で、語源は「あふり」＝「あめふり」のようである。「八大龍王雨やめたまえ」の言葉があるが、車田の龍王碑とともに雨の祈願を思わせる。 碑文 (右側面) 當山之神 元麓新城山 旧藩主島 津義久公御鎮 座在旧国分郷 今ノ国分村 (前面) 宗廟ノ山神ノ崇 敬給ヒシヲ明治四 十二年十二月當 社合祀ニ付台礎 石並石工費左記 三名奉納ス (左側面) 本社氏子総代 山内吉之進 楠元与右衛門 家村一蔵 社司 山口盛恒



279 富吉榮二墓碑

① 龍昌寺墓地 ② 昭和三十一年（1956）九月二十六日

④ 法名「普賢院釈大心位」

衆議院議員從三位勲二等 富吉榮二

辞世の歌「亡びゆくものの哀れか五稜郭の

城址に立てば去り難きかな」の刻字。

⑤ 碑文

大正ノ中期ニ労働者農民ノ解放運動ノ起ルヤ氏ハ教鞭ヲ投ケ於テ之ニ突入シタ
爾来數度ノ投獄ナドノ彈圧ヲ乗り越ヘ終始一貫大衆ノ先頭ニ立ツテ斗イ抜イテ
来タ大正十四年普通選挙ガ成立シ無産政党結成運動ガ起コルヤ率先之ニ参加協力
シテソノ幹部トナリ村会議員県会議員ヲ經テ遂ニ昭和十年衆議院議員ニ当選シテ
中央政界ニ進出シタ爾来当選スルコト六回片山内閣ノ商工政務次官芦田内閣ノ
通信大臣ヲ歴任シタ氏ハ文才ニ長ケ話術ニ富ミ南風ノ雅号ヲモチ晩年ニ至ツテ
ハ人生修業ニヨツテ益々円熟シ瘦身短軀ナガラ将ニ大人ノ風格ヲ示ス大政治家
ニナツテイタ今ヤ内外政局極メテ多端日本社会党ノ使命益々重大ヲ加ヘツツア
ル秋偶々北海道遊説ノ帰途昭和二十九年九月二十六日洞爺丸ニ乗船遭難サレタ
コトハ洵ニ痛恨ニ耐ヘナイ

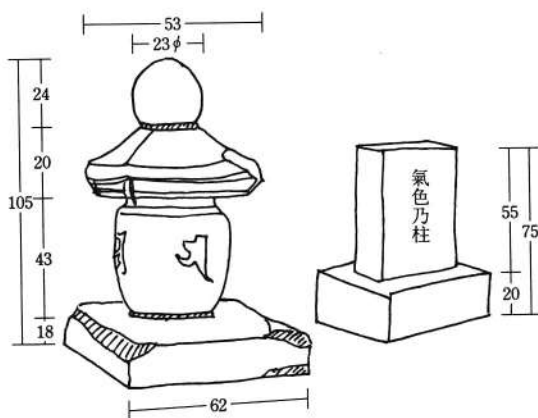
西尾末広撰



向花・府中地区

282 宝塔

- ① 気色の杜
- ② (年銘なし)
- ③ 高105センチ



- ④ 四面梵字。
- ⑤ もとは鼻面川のほとりにあったらしいが、寛永二年（一六二五）の洪水で流失したので現在地に移したものである。
* 気色の杜・なげきの杜・風の杜などはモイヤマと呼ばれる聖地、タブーの場所との関連も今後の課題であろう。
祇戸神社前の東勝美宅にも宝塔283（国分市指定文化財）あり。



283 宝塔（残欠）「市指定文化財」

- ① 府中町11-3 東勝美宅
- ② 鎌倉期（推定）
- ③ 高126センチ 直径50センチ



④

梵字四仏、阿弥陀三尊を彫る。

明治三十年ごろ、前の畑からここに移したものの。

*（伝）税所篤用墓、一説に相良氏先祖の供養墓。

* 献灯は明治三十年三月吉日東金次郎と彫る。

* 納骨塔。氏神様になっている。



284 五輪塔

(右) 五輪塔(残欠)

③ 高一〇二センチ。

④ (刻銘なし)。

⑤ 仏像を彫る。

(中) 五輪塔(残欠)

③ 高八七センチ。

④ (刻銘なし)。

(左) 五輪塔

③ 高七三センチ。

④ (刻銘なし)。



290



287

288

290 石柱（一字一石供養塔）	287 288 庚申六地藏（残欠）
① 府中町12-65 池田敏雄宅 ② 天明六龍□丙午天（1786） 卯月大祥日	① 府中墓地 ② （右）（年銘なし） （左）元禄十丁丑年（1697） 四月吉祥日
293 「心月妙□□」がある。 池田新助妻」 292 「安永六丁酉天五月廿四日（一七七七） 覺智良圓居士 池田次兵衛」 291 「安永四歳末六月廿二日（一七七五） 高岳貴胤居士 池田新助」 ⑤ ④ 磨耗して不明。 イッゴサアと呼ばれる。同氏宅内の墓石（写真はない）。	③ （左）高143センチ （右）高132センチ ⑤ 両者は一体のものであろう。 ④ （左）「奉奇進 庚申 主取 立良右衛門 鬼太郎」の刻字。



289 六地藏（残欠）

- ① 府中町12-65 池田敏雄宅
③ 高90センチ 直径48センチ

④

碑文

「同

同

右衛門尉殿

「……日□功伸功養……

……

……野崎謹書之

「西路隅□□府中……諸

地藏……□□菩薩六尊……

……

「類浄慈水□……

全願求成就如意吉祥……

長……大施主……祝……賛同述点眼

……萬歳……

「頑治快便□六眼罪光耀……

……松樹増時

……山川……國家……

「……一郎右衛門

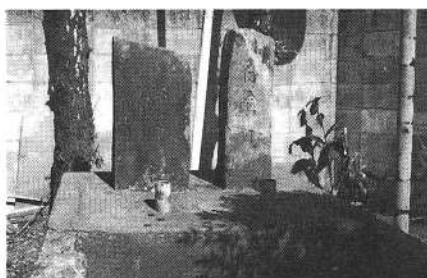
□□方

□□内五衛門殿

同名吉左衛門

内方八郎次郎

六角石柱の碑文で土中にも刻字がありそうだ。



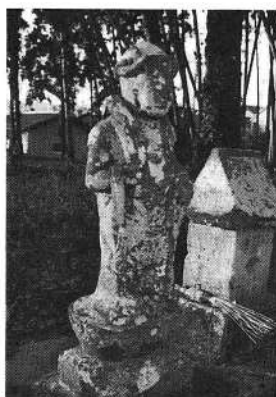
299

300

299 保食神碑	300 保食神碑
① 同右 ② 大正三年四月八日（1914） ③ 高67^{センチ}	① 向花公民館 ② 慶応年間 ③ 高68^{センチ}
④ 「保食神社 九十八歳」の刻字。	⑤ ④ 「保食神」の刻字。碑文。 当地は太鼓踊りなどの踊庭跡という。 碑文 「此処モト大目ト馬頭観音ト…牛馬…益ヲ祈ル 王政復古ノ運ニ造立…國ノスルノ理ナシ是ヲ □□彼ニ去リ新ニ保食神ヲ□トコシヘニ牛馬 安全五□…奉ルモノナリ」



307 塞の神碑 (猿田彦神)	305 石敢当	302 石碑 (自然石)
① 府中町25-35 徳田幸宅前 ② 明治卅年 (1897) 二月十一日 ③ 高45センチ 幅28センチ	① 府中町21-26 堂脇進宅前 ③ 高37センチ 幅20センチ	① めがね橋付近 ③ 高80センチ
⑤ ④ 「崎田彦神」の刻字。 旅人の安全を守る神であろう。 三叉路上突き当たりにある。	④ 「石散当」の刻字。	⑤ ④ 「村之権現」の刻字。 ここに権現様があったのだろう。



313 史碑（気色の杜）	301 地神	296 水神碑（水天石像）
① 府中町27番 気色の杜	① 祓戸神社 ③ 高46センチ 幅26センチ	① 祓戸神社 ② 元禄五年壬申 (1692) 二月吉日 ③ 高134センチ
④ 碑文 (碑文は次頁に掲載)。	⑤ ④ 「地眼」の刻字。 地神はその土地の守り神で産土神という。	⑤ ④ 「石工 小倉鹿之助 府中 次郎左衛門」の刻字。 竜蛇は水神の化身と考えられている。 昔は小字「安蛇水流」付近にあったもの。石材は桃木野石。 隼人町には水天石像が七体もある(『隼人町の石造文化財』)。 *彫りと保存のよい水神。地元の人はマムシの神サーと呼んでいる。

気色の杜 史碑

三国名勝図会によればこの地気色の杜は初め鼻面川の隈に在ったのを寛永二年四月頃大洪水があつて杜社共に漂流してしまつたので当時の地頭喜入大炊久和という人が杜殿を今の地に新建して天満天神の本像を安置したと又同書に曰く気色の杜は地頭館より申の方角凡そ十五町曾小川村府中に在り松杉楠等森森たる中に祠あり祭神は天満自在天神なりと例祭六月廿五日云々或又曰く気色の杜はもと天子で蛭児神であつたのを里人誤つて天満宮を祭つたとこのほか太宰府管内誌下巻大隅国編によれば我が国平安時代末期以後の和歌集にも気色の杜についての和歌が十数首も詠まれている私達の祖先即ち府中の人々は敬神の念厚き近郷の人々と共にこの天神社を心のよりどころとし代々その祭祀を怠らなかつたのであるが明治四十三年政府の命に依り今の祓戸神社に合祀されたので其の後社殿もなくなつたが里人は天神社の復元を図り社殿をここに造営し神霊も分祀したが神社庁が神社として認めなかつたのでこれを遥拝所としてその祭祀も行つていたのに昭和二十四年に至りついに止むなく神霊は再び祓戸神社に合祀された其の後天神山は幾くとせか春夏秋冬四季折に移りさだめの中に昔日の松の大樹の風音もなく荒廃の一途を辿りつつあつたのを昭和四十一年春府中老人クラブ員が発起し部落の協力を得てこの地を公園として改造したのである時に明治百年を迎へるにあたり吾等府中の人々はこの地を永久に保存しにしるを偲ぶよすがとするとともに続く若人達が郷土の誇りとし更には明日を築く意欲のかてとならんことを祈念してここに史碑を建設するものである。

新続古今和歌集より大納言重資

新古今和歌集より後京極摂政太政大臣

続古今和歌集より左近衛中将教長

梢にはおそきみどりを先見せて

秋ちかき気色の杜になく蟬の

見るままにうつろいにけりしぐれゆく

春のけしきの杜の下葉

涙の露やした葉そむらん

けしきの杜の秋のもみじは

名処小鏡この歌順徳院の御製

明け渡る気色の杜にたつ驚の

上毛もふかく雪はふりつつ

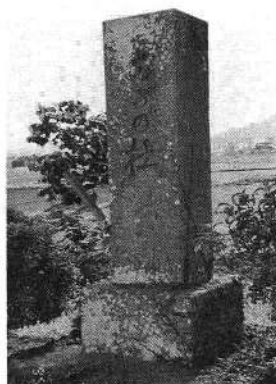
昭和四十四年四月吉日建

府中 むらびと

同 老人クラブ一同



316 孝女オナツの墓	315 石碑
① 新町墓地 ② 天保十三年寅（1841）十月廿七日 ③ 高50センチ	① 新町 ② （年銘なし） ③ 高110センチ 幅30センチ
⑤ 碑文はきれいな行書体。 ④ 「可憐妙心信女 新町村之 半太郎 妻」の刻字。	④ 「奉造立 北辰大明神 諏訪大明神」の刻字。



317 記念碑（こがの杜）

- ① 姫城
② 大正十四年六月（1925）

⑤ 平家落人の恋人が大隅国のここまで探がし訪れて、いつか会える日をと待ちこがれたところという。

碑文

「こがの杜ハ二三ノ伝説アレド由緒詳ナラズ
サレドモ古来三州古蹟ノ一ニシテ往古ハ水田
ノ中ニ叢林アリテ樟ノ大木繁枝シ樹ノ周圍ハ
丈二尺余アリシコトハ旧記ニ録スル所ナルモ
今ハ叢林ナク樟木亦老朽シテ二株トナリ僅カ
ニ餘生ヲ保テルヲ頃日邑ノ有志新盛英夫田辺
寅吉其他□図リ徒ラニ其荒蕪ニ□シ遂ニハ其
湮滅セシコトヲ憂村ノ補助ヲ得接続地主富吉
氏ノ贊助ヲ求メ□葛ヲ前リ雜草ヲ払ヒ境域ヲ
修□碑ヲ建テテ永ク保存ノ道ヲ立テタリ

干時大正十四年六月

時 村長 肥後喜次郎

助役 濱田良秋

学務委員 片平直治



318 摩崖仏（梵字）

- ① 姫城 稲荷神社横
- ② 建徳三年（1372）二月二十日
- ③ 直径95センチ

左より

（サ）（ア）（バ）（パン）（バイ）（ウーン）（バク）

*梵字（七字真言）
横 41センチ
縦 51センチ

④ 梵字は「阿弥陀三尊」を表す。
「願主 円阿」の刻字。



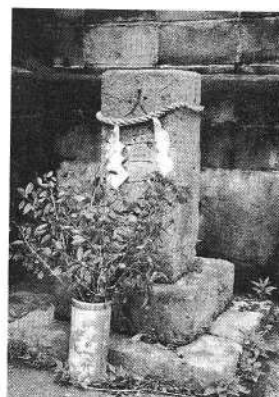
321 水神 (水天石像残欠)	319 板碑 (梵字)
① 田畑自動車前の 水路の淵 ② 元禄二年己巳 (1689) 四月八日 ③ 高52センチ	① 姫城2733 (平岡) 吉尾一宅 ② (年銘なし) ③ 高80センチ 幅27センチ
④ 「南無水天妙神 當村中施主」の刻字。 ⑤ 左手に棒状のものを持つ。	④ 梵字は阿弥陀三尊を表す。 ⑤ 318 摩崖仏(阿多石)、283 宝塔(東勝美宅)の梵字も阿弥陀三尊である。 



323



323 宇氣母智神碑	320 六地藏（残欠）
① 姫城 稻荷神社 ② 明治六癸酉（1833）六月吉日 ③ 高65㌦	① 竹下 洞泉寺跡 ② 天正九年辛巳（1581）二月□□日 ③ 高120㌦
⑤ 左奥に「妙現宮」の石碑一基がある。当社を「オミケンサア」と呼ぶゆえんである。 ④ 「宇氣母智神 當村中」の刻字。	⑤ 俗にイボン神サアと呼ぶ。昔は少し上の場所にあった。姫城竹下寺ん筋（四角の道路のコンクリート壁の角にあり）。 碑文 「□□國関西西路… 廣大示現四十九社… □間… 善修國家… 平安諸息施主… 福祿増進… 為…



325 石碑（自然石）	324 火の神碑
① 竹下市道沿い ② 延宝四年（1676）十二月吉日 ③ 高80センチ	① 姫城2868（竹下）梅木勉宅角 ③ 高75センチ 幅29センチ
⑤ ④ 「☐☐護戸☐橋」の刻字。 （伝）庚申橋碑	⑤ ④ 「火産大神」（ほむすびのおおかみ）と刻字。 この付近は外姫城の踊庭跡という。



(故本田潔氏撮影)



(故本田潔氏撮影)

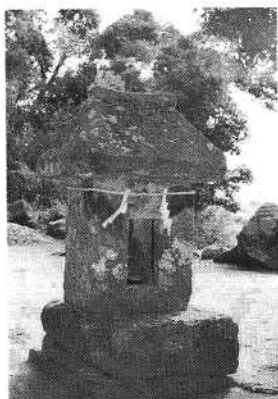
326

327

328 無縫塔	326 327 石仏 (座像) ほか
① 姫木城跡	① 姫木城跡
④ 「心峰記室禪師」 「長歳永椿記室禪師」 永禄十二年巳己□月十八日」の刻字。	④ ② 326 石祠 寛保三年癸亥（一七四三）四月八日 「姫城寺 正観音 本尊佛」の刻字。 ⑤ 327 観音様であろうか。



332 田の神像（田の神舞型）	331 田の神像（田の神舞型）
① 上小川森ノ木603 野口タタミ工業の北の水田 ② 昭和三十一年（1956） 十月一日	① 久満崎神社 ② 安永七戌（1778）五月五日 ③ 高85㌢
	④ 「上小川 二才中」の刻字。 顔の表情不明。メシゲ・ワンのようなものを持つ。シキをつける。 * 鹿兒島神宮神田脇にある田の像とよく似ている。作者は同じではないか。



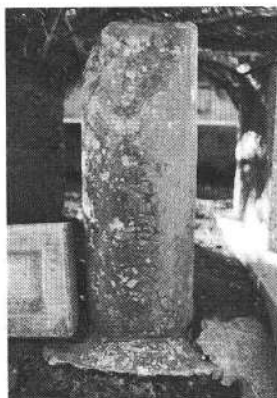
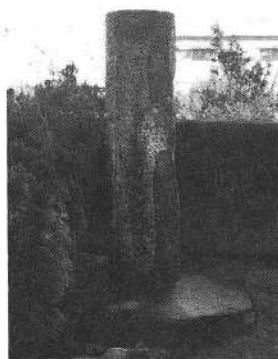
344 門神碑（石祠）	340 石敢当
① 久満崎神社 ② 元禄四未年（1691）正月吉日 ③ 高130センチ	① 上小川707-1 赤塚勲宅 ③ 高45センチ 幅24センチ
⑤ 社殿に向かって右側のもの。左側は昭和期。	④ 「石當散」の刻字。



338 石牛像（首なし）	337 石馬像
③ 体長60センチ	③ 体長40センチ
⑤ ④ （刻銘なし）。 鹿兒島神宮の初午祭を済ませた馬はここにも奉納したとい う。他の一体の石牛像は体長五〇センチ。 止上神社の打植祭には木牛像が用いられていた。	⑤ ④ （刻銘なし）。 足部欠損。牛馬に対する感謝の念が伝わってくるようだ。



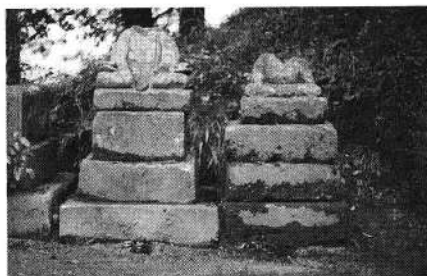
347 仁王像（上半身）	346 仁王像（下半身）
① 野口・松木墓地	① 新川沿いの道路脇 （し尿処理場搬入路） ② 天明二壬寅（1782）九月吉日 ③ 高70 _{センチ}
⑤ ④ だ。 新川沿いの道路脇にある下半身部（346）と合致するよう （刻銘なし）。	④ 「 施主 関清□□ 国分松木村右第清□□ 源照山無量壽院法禪寺 十二代 了善」の刻字。 ⑤ 地元の人は水神さあと呼んでいる。廃仏毀釈の時松木の源照山法禪寺からここに持ち出されたものらしい。



351 鳥居（残欠）	350 鳥居（残欠）	348 水神碑（仏像型）
① 枝宮神社 ② 紀元二千六百年 (1940) 紀元節 ③ 高115センチ	① 枝宮神社 ② 延宝六戊午 (1678) ③ 高80センチ	① 野口橋下 ③ 高66センチ
⑤ 鳥居の残欠を利用した記念碑である。 上部は円形、下部は八角形である。 ④ 「奉祝天孫降臨祭神木 霜月初正月」の刻字。	⑤ ④ 「□□神社」の刻字。 この石は円柱である。	⑤ 俗に水神サンと呼ばれている。上半身はセメント製で頭には蛇を巻いている。



352 手洗鉢	349 宇気母智神碑
① 枝宮神社 ② 大正九年四月三日 (1920)	① 枝宮神社 ② 明治六酉一月吉日 (1873) ③ 高46センチ 幅27センチ
④ 「國分村野口」 五ヶ村紀念 樋口喜次郎」の刻字。 ⑤ 熊襲伝説を伝えるお宮である。	④ 「宇気母智神 野口村」の刻字。



355

36

355 36 田の神像（神像型・座像）

- ① 小鳥神社
- ② 元文四未年（1739）九月吉日
- ③ 高35_{センチ}

36 ⑤ 355

首なし。両手欠損。後ろ姿にエイらしきものあり。

仏座像（首なし）は、刻銘なし。

* 熊襲伝説を伝えるお宮である。

* 国分市内では最も古いタノカンサアである。



364 水神碑

- ① 福島橋付近
 ② 天保十四年癸卯（1843）三月吉日
 ③ 高104^{センチ}

④ 碑文	
地方検者 宮原五兵衛	郡見廻 秋山庄右衛門
右同 伊集院五右衛門	庄屋 肥後□□
郷土年寄 平田仁左衛門	石工 間世田辰之進
用水掛 久木田七郎太	同 松下傳次郎
	同 間世田善之助
	名主 寺□門 藤助
	西代宮門 善太郎
	堀之内門 清右衛門
	用水掛下役西重門 孝四郎
	岡別府門 銀助



367 明神鳥居

- ① 鎮守神社
- ② 元文三戊午（1736）三月吉祥日
- ③ 高3^{メートル} 幅155^{センチ}

④ 「奉造立 二才中」の刻字。
 熊襲伝説を伝えるお宮である。

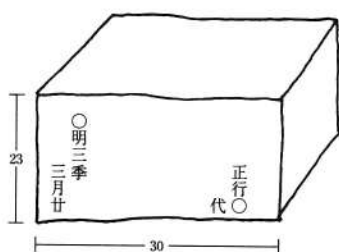


373

371

371ほか 五輪塔（地輪は補充したもの）

- ① 広瀬4-8-5 和田正弘宅
 ② （刻銘なし）
 ③ 高160センチ



373

墓碑（六角柱の碑文）高さ120センチ。
 ＊楠木正勝の由来についての碑文（次頁に記載）がある。

372

五輪塔（残欠）

「□明三季三月廿□日 正行□」の刻銘（イラストはあるが、写真はない）。

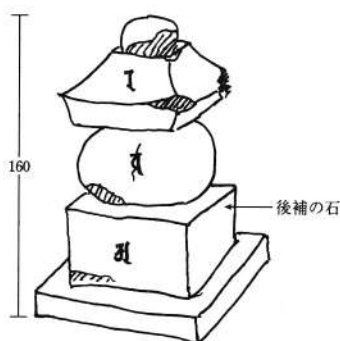
碑文の再調査が必要である。碑文中の和田円覚坊の墓は現在加治木町小山田布越に残っている。

④

（伝）楠木正勝墓 梵字あり。

⑤

楠正勝は応永の乱（二四〇〇）前後の人で、南朝の再興を計った人物。また、正八幡の神職ともいう。隼人町の弥勒寺から移転したもの。



373

墓碑（六角柱）の碑文。

（側面）

楠正勝ハ正成ノ孫ナリ正勝応永ノ乱

レ大和十津川ニ逃レシカ後密ニ脱出シテ九州ニ来リ

日向ヨリ大隅ニ入り正八幡宮ノ別當弥勒院ニ

寄セ世ヲ忍ビ時機ヲ窺シモ南風遂ニ□□□足

利氏ノ覇業成リ再興モ□□ナキヲ見テ俗□

僧トナリ多聞坊ト称シ姓ヲ和田ト改ム實ニ我家ノ祖先

□ニシテ深ク□□シ子孫ヲシテ家系ヲ……

家督者ノミ口傳ヲ授ケシム三四代ノ後円覚坊正信ナ□□

ノアリ武略ヲ以テ藩主島津義弘ニ事ヘニ功勞アリ墓ヘ□加

治木城地ニ存ス又徳次郎ナルモノ正八幡ノ浜宮ノ……

テ小村ニ移住シ子孫達連綿今日ニ至レリ以上ハ祖父……

死ニ臨ミテ相傳セシ所ナリ正勝ノ墓碑ハ隼人町見次ニ□□

鐵道工事ノタメニ埋没セリ今五輪塔ノ碑並地下埋没ノ建□□

掘シ現在ノ地ニ移シ碑ヲ立テ梗概ヲ勤ス希ク祖宗ノ神□□

安ンズル所アレ改別當弥勒院

昭和六年旧六月二十八日 和田常市

（側面）

鹿児島縣史蹟名勝

天然紀念物調査員 伊地治茂七謹誌

（正面）

和田家祖

先多聞坊 楠正勝之碑



376

377



376 無縫塔	377 無縫塔	374 宝篋印塔 (残欠)
② 元禄九丙子天 (1696) 拾月吉日 ③ 高50 $\frac{1}{2}$ 寸	① 広瀬墓地 ② 享保十一丙午年 (1726)十一月廿七日 ③ 高50 $\frac{1}{2}$ 寸	① 広瀬墓地 ③ 相輪69 $\frac{1}{2}$ 寸 笠石37 $\frac{1}{2}$ 寸 台石45 $\frac{1}{2}$ 寸
④ 「前正興當院開山星淑大和尚 琉球禪隆建」の刻字。	④ 「前正興當院十二世全岑」の刻字。	⑤ ④ (刻銘なし)。 広瀬公民館保存指定。かなり大きなものである。

広瀬地区



382

383

384 大型の田の神像 (旅僧型)	382 石仏(地藏菩薩・首なし)	383 板碑
① 国道10号線沿い ② (年銘なし) ③ 高105センチ	① 広瀬墓地 ② □□□十月吉日 ③ 高57センチ	① 広瀬墓地 ② (不明) ③ 高67センチ
⑤ 両手欠損。シキ。加治木石製。 もとは堤防近くのツブシ(遊水池)脇にあったといわれる。	④ 「 奉造立地藏一尊 施子 敬白 二右衛門」の刻字。	④ 「 浄祐」の刻字。



385 保食神碑	386 水神 (石祠)
① 国道10号線沿い ② 明治九丙子年(1876) 九月二十日	① 国道10号線沿い ② 弘化四年丁未 (1847) 七月廿八日 ③ 高170センチ
⑤ ④ 「保食神」の刻字。 馬の絵を彫る。 碑文は次頁に記載。	⑤ もとツブシの脇にあったという。小村新田は弘化二年〜嘉永四年の六年間の工事であり、この完成を祈念して造立されたものと思われる。石材は加治木石。



387

388 水神碑	387 水神碑
① 広瀬3-1-28 池田武蔵宅 ② 文政十二年 (1829)	① 広瀬4-1-22 ② 明治三十年 (1897) 五月八日 ③ 高45^{センチ}
⑤ ④ 「水神」の刻字。 月輪を刻む。もと上小川にあった。	⑤ ④ 「水波賣神（みずはのめのかみ）」の刻字。 昔、都城で購入したものである。 『古事記』では「弥都波能売神」、『日本書紀』では「罔象女神」（みずはのめのかみ）とする。

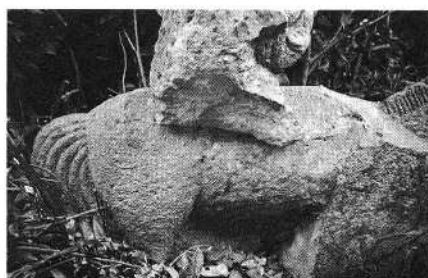


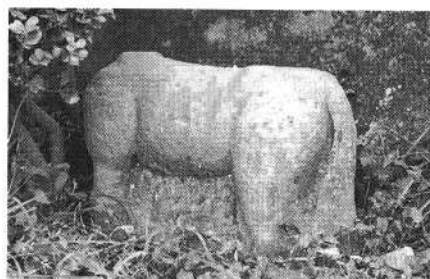
389 石馬像（騎乗の馬頭観音碑）

① 広瀬4-11-17淵脇宅

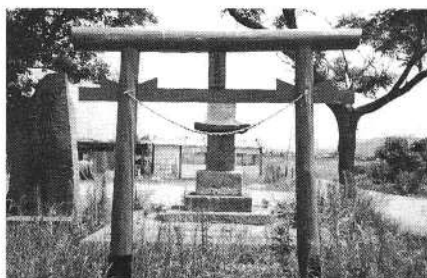
③ 仏像の高さ50センチ
馬の長さ85センチ

⑤
六本の手と合掌する。





391 石敢当	390 石馬像（馬頭観音・首なし）
① 広瀬4-4-43 中馬太一宅前 ③ 高40_{センチ} 幅15_{センチ}	① 広瀬4-17-7 後馬場通・公園角 ③ 高60_{センチ} 全長85_{センチ}
⑤ ④ 「石散當」の刻字。突き当たり。	⑤ ④ （刻銘なし）。バトカンサーと呼ばれるている。



398

397

399 石仏（座像・首なし）	397ほか 水神碑（石祠）
① 小村新田 ② （年銘なし） ③ 高57センチ	① 小村新田 ② 昭和二十八年十月（1953）
④ 両手に何か持つ。	④ 「住吉大明神」の刻字。 398 記念碑 「小村新田干拓記念碑」の刻字。 * 敷き石には岩永三五郎作の石もあり。 * この碑の左に石仏（首なし）399がある。



402 記念碑（遺効碑）

- ① 大穴持神社
② 明治四十二年七月（1910）

⑤ ④

「遺効碑」の刻字
碑文

遺効碑

廣□百餘町小村新田者實斯村之富

源世此地初島津家為所有而明治壬寅之頃

總代諸氏率先稱購買之議代耕作人一同晝夜奔走忘侵食

當折衝之勞遂以五萬餘之廉價買占之主締結年賦償還之

便法而一方大奨励勤儉先年終完済之金婦小村民有焉

今唱價數十萬者若當時委員之幹旋有為緩慢者乎如何

可得至茲是不可不為多島津家以對小村緣故被與諸事

無例之便益與委員諸氏盡碎之効矣今關係者相図茲是等

効德傳永久為円田之由來知永遠建碑其功過之一藩班爾

明治庚戌夏

増利慶次郎撰

買受總代

塩川彦四郎

池田仲左衛門

塩川彦太郎

泊喜太郎

中馬八之丞

徳田周吉

右六名者年賦中功勞者

☐☐☐☐☐ 関係功労者 平田二郎 ☐☐委任者 山口盛恒 建設委員 いろは順 池田金右衛門 池田金蔵 服部茂吉 堀切金太郎 堀切増太郎 中馬猪之助 中馬源右衛門 中馬盛☐ 中馬☐四郎 明治四十二年七月建設 塩川藤次郎 塩川萬吉 塩川常吉 谷口齊蔵 谷口吉 曾山☐☐ 有馬為祐 宮永源次郎 宮永仁助	



400 灯籠

- ① 大穴持神社
- ② □□午十月十一日
- ③ 高191^{センチ}

⑤

阿蘇鉄矢は安政六年己未十月吉日に川内竈神社に献灯している。『千台』23号に詳しい。

* 小村新田の堤防工事に大工の棟梁として参加している。

灯籠 神殿の左前の碑文

□□午 十月十一日

□□源藏 政致

□元十九郎 実徹

岩城新次郎 隆次

作事方下目付助

永山喜左衛門 盛谷

御大工頭

阿蘇鉄矢 政辰

□□年寄

服部権兵衛 貞富

組頭

市来宗兵衛 政智

山元市左衛門 盛陣

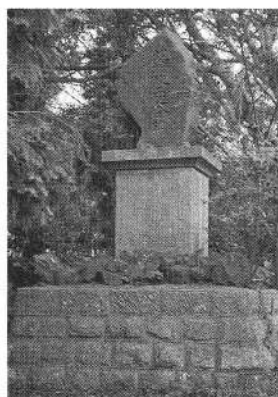
灯籠 神殿の右前の碑文

□□午 十月十一日

御勘定方小頭

御趣法方詞掛

四本八郎左衛門 為陣



403 記念碑（堤塘竣工記念碑）

- ① 大穴持神社
- ② 昭和二十九年三月（1954）

⑤ ④

「堤塘竣工記念碑」の刻字。
碑文

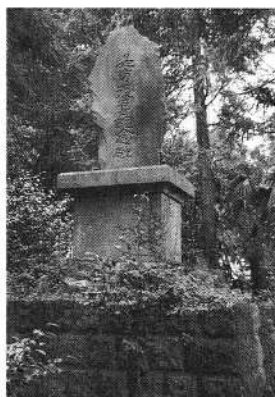
堤塘竣工記念碑

元参議院議員中馬猪之吉書

小村新田ハ大正三年櫻島大噴火ノ為メ土地沈降打続ク台風ノ為メ堤塘決潰大災害ヲ蒙リ直ニ復旧耕作セル処昭和二十一年同島再ビ噴火風水害等ノ為メ被害ヲ受ケ再ビ堤塘ノ嵩上ゲ農地復旧客土等二千万円内地元負担金五百六十万円ヲ投ジ復旧シ耕作セリ然ルニ突然昭和二十六年十月十四日夕刻秒速六十五メートルノルース台風ハ一瞬ニシテ努力復旧セル堤塘ヲ大分決潰シ良田變ジテ大沼澤トナリ慘状目モ當テラレズ部落民ハ茫然自失ノ有様デアッタガ直ニ耕作者一同ハ復旧決議シ関係當局ニ陳情當局ハ一部国営一部縣営トシテ復旧工事ヲセラル事ニナリ國縣費六千五百五十二万円地元負担金八百十五万円計七千三百六十七万円ノ巨費ヲ投ジ二十九年三月見事竣工セリ此ノ間耕作者一同ノ一致団結ノ熱意ト関係當局ノ同情アル指導ハ勿論特二十有余年ノ間終始一貫復旧理事長トシテ老軀ヲ提ゲ奮斗己マザル中馬太次右衛門村長中馬時雄衆議院中馬辰猪理事監事總代等諸氏ノ献身の努力ニ依リ工事が完成シ美田ニ復旧耕作シ生活ノ安定出来ル様ニナッタ事ヲ銘記セネバナラヌ仍テ官民関係者一同ノ労苦ヲ偲ビ感激スルト共ニ將來ヘノ発展ヲ期スル為茲ニ各方面ノ寄進ヲ仰ギ竣工記念碑ヲ建設シタ次第アル

昭和二十九年三月

記念碑建設發起人委員長 中馬猪之吉誌



404 記念碑（堤防復旧記念碑）

- ① 大穴持神社
② 大正六年十一月（1917）

④ 「堤防復旧記念碑」の刻字。

⑤ 碑文

小村新田ハ今ヨリ七拾有餘年前
島津家二十七代ノ主斉興公ノ時
代ニ開拓セラレシ所ニシテ當主
忠重公ヨリ五万餘円ノ破格之廉
価ヲ以テ払下ゲノ恩澤ニ浴シ村
民生計之資源タルノ土地タリシ
ナリ然ルニ大正三年一月十二日
櫻島大爆発シ連日天地鳴動噴煙
天ニ□シ白日尚暗ク時ニ巨石ヲ
降ラシ灰砂ヲ飛バシ溶岩ヲ噴出
シ為メニ瀬戸海峡ハ閉塞セラレ
沿岸一帯ノ土地沈降海水ハ三尺
餘ノ高潮□来シ地区内ニ海水侵
入水田ノ大半ハ一太沼海ト変ス
ルニ至リ人心□セタリキ□ヘハ
月ノ満潮時ニ□□其変激甚シ加
エ且ツ暴風□□村民ハ遠近ノ応
援団ト共ニ日夜寢食ヲ忘レ大ニ
防禦ニ努メタル甲斐アラバコソ
□月二十五日堤防ノ西南角其他
數ヶ所ニ大決潰ヲ生ジ海水滔々
トシテ侵入青田變ジテ海ト成リ
浸水家屋百餘戸家財流出着ルニ
衣ナク食フニ食ナキノ慘状ヲ呈

シ村民ノ困憊其極ニ達セリ茲ニ
於テ乎村□勵奮然堤防復旧ノ議
ヲ決シ嶋當局ニ訴フル処アリ縣
又此議ヲ□トシ四万貳千八十二
円ノ補助金ヲ下附セラル村又貳
万七千餘ノ資ヲ投シ大正四年貳
月工ヲ起シ同四年十一月潮止ニ
施行同六年十月嵩上ニ和土工延
長各一千七百間腰石垣内堤防其
他ノ諸工ニ至ル迄漸ク工ヲ竣工
村民其海□安ンスルヲ得ルニ至
レリ……

村當極……

民、

多大ノ同……

世ノ村民タルニ此□ヲ忘レサ
ルハ勿論一日タリトモ堤防愛護
ノ念ヲ斷ツ勿レ聊カ由來ヲ記シ
新田ト因縁淺カラザル當社境内
ニ地ヲトシ記念ノ為メ地主一同
ヨリ碑ヲ建ツ

鹿児島縣知事 高岡直吉
始良郡長 肝付勇吉
東国分村長 肥後喜次郎
設計主任技手 林 俊房

以下略

大正六年十一月建設



405 406

405 石仏（如来座像・首なし）	406 石仏（観音座像・首なし）
② 文化八年未（1811）三月十五日 ③ 高130センチ	① 湊墓地 ③ 高30センチ
④ 「當寺前住大慈端堂惠發西堂和尚 琉球國中山府那覇邑 龍翔院我翁從」の刻字。	⑤ ④ （刻銘なし）。 膝を立てている。



408

409

407

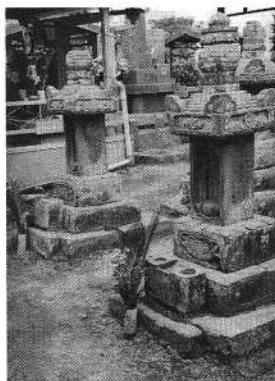
408 石仏 (立像・首なし)	409 田の神像	407 石仏 (仏立像・首なし)
② (年銘なし) ③ 高40 $\frac{1}{2}$ 寸	② (年銘なし) ③ 高58 $\frac{1}{2}$ 寸	① 湊145-2 古俵トキエ宅前 ② 明和五子□ (1768) 八月吉日 ③ 高48 $\frac{1}{2}$ 寸
	⑤ 足部が小さく上部は磨耗している。	



411

410

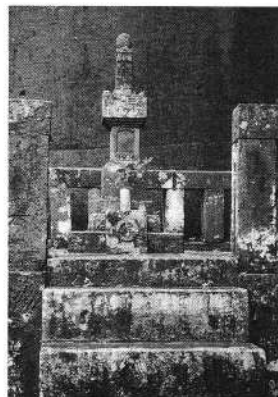
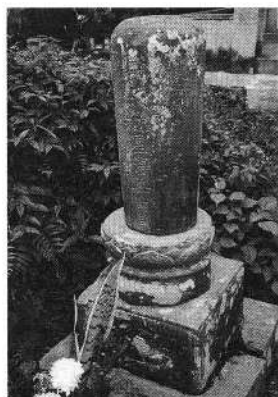
411 水神碑	410 田の神像（田の神舞型）
② □□四年六月 ③ 高65_{センチ}	① 湊923 マンション前 ③ 高80_{センチ}
④ 「水神」の刻字。	⑤ ④ （刻銘なし）。 シキ、メシゲ、 ワンを持つ。



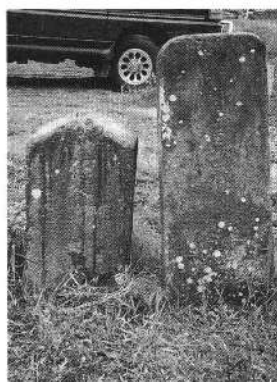
413

412

414 墓石 (門墓)	413 宝篋印塔的墓石 (門墓)	412 宝篋印塔的墓石 (門墓 <かどはか>)
① 湊墓地 ② 安政三年辰 (1855) 八月十九日 ③ 高70^{センチ}	② 天明元辛丑 (1781) 五月廿日	① 湊墓地 ② 天明八戊甲 (1788) 二月六日 ③ 高150^{センチ}
④ 「増田門 源太郎」の刻字。	⑤ 前田門は大きな門で庶民に格差が生じていたことはこれらの墓石の規模で察せられる。 ④ 「壽屋妙性大姉 前田門 半左衛門妻」の刻字。	④ 「壽田全性居士 前田門 半左衛門」の刻字。



418 無縫塔（僧侶墓）	415 宝篋印塔
① 淵龍院墓地 ② 慶長十七年壬子（1612）九月十五日 ③ 高60センチ	① 淵龍院墓地 ③ 高190センチ
④ 「二代 島屋淳益和尚 大破後 家村氏 宮原氏 立之 何村氏」の刻字。	④ 「蓮昌妙守庵主」の刻字。 ⑤ お平様の墓（義久公の長女）。 上井城の麓で慶長八年（一六〇三）没。



426

427



426 保食神碑	427 保食神碑	424 仁王像（下半身）
② 慶應四辰年（1868） 六月 ③ 高85^{センチ}	① 上井997（向川原） 錢瓶久男宅前 ② 明治三十一年 （1898）旧三月十日 ③ 高110^{センチ}	① 山下町16-26 徳持庵跡 ③ 高67^{センチ} 幅66^{センチ}
⑤ ④ 碑文 「保食神 牛馬神 川原中」の刻字。 中村長次郎 西村新次郎 …… 樋脇敬次郎 笹道敬助 …… 段 敬次郎 段 吉右エ門 …… 山下庄次郎 下村長助 …… 矢野七郎太 新村金次郎 新 敬次郎 永迫□四郎	⑤ 牛の絵が彫つてある。	⑤ 義久公之蹟の記念碑（昭和大典之秋発掘記念）の土台になつてゐる。



429 水神碑	
① 川内925 (向川原) 桜井義信宅前	
② 天明五乙巳年 (1785) 六月吉日	
③ 高90 ^{センチ} 幅35 ^{センチ}	
⑤ ④ 「水神」の刻字。 月輪を彫る。	前川原傳兵エ 山内畝五郎 中川原傳次郎 山内畝次郎 前川原金太郎 新村長次郎 松元助右衛門 山下庄助 □元畝太郎 中川原□太郎 山元彦イ 上村□□ 永田傳□十 南伊右衛門 山元七ツ 西川三次 松元金助 室屋□吉 西田熊助 大福新右衛門 □手新太郎 山本畝助 永迫休藏 新徳小左エ門 新福次左エ門 山内□□□ 室屋傳助 新福市次郎 山下小八 中村小八 松元市郎左衛門 下川原金左エ門 西元庄助



(左)



434 狛犬	423 仁王像（上半身）
① 諏訪神社 ③ (左) 高43センチ 全長50センチ (右) 高40センチ 全長55センチ	① 山下町16-26 徳持庵跡 ③ 高135センチ 幅60センチ
⑤ ④ (刻銘なし)。 「あ・うん」の対で社前にあったものだろう。市内で唯一のものか。境内には亀型の手洗鉢がある。	⑤ ④ (刻銘なし)。 ここは吉田町津友寺末寺という。



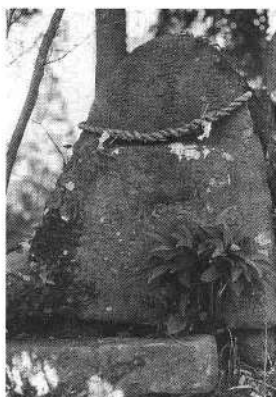
435 供養塔（二連供養塔）	430 水神（仏像型）
① 徳持庵墓地 ③ 高70センチ 幅58センチ	① 五ヶ村井堰 ③ 高72センチ
⑤ 宝篋印塔を陽刻したちよっと珍しい墓。 ④ 「大心恒雄居士 鶴翁妙仙大姉 □□□左衛門」の刻字。	④ （刻銘なし）。 ⑤ 剣と蛇のような縄索（けんさく）を持つ。 *隣に 「五ヶ村井堰統合改修記念碑 昭和四十七年（一九七二） □月吉日」がある。 （写真はない）



437 田の神像（座像型）	436 石仏（庚申地藏）
① 川内197（下川内）町田忠吉宅北隣 ② 安永六丁酉年（1777） ③ 高70 ^{センチ}	① 川内墓地 ② 貞享三歳丙寅（1686） 十二月吉日 ③ 高110 ^{センチ}
⑤ 足部は形なし。頭はシキではなく別の石をのせている。顔の表情不明。	④ 「奉供養庚申」の刻字。 ⑤ 庚申信仰と地藏菩薩が習合した古い型で、その後は青面金剛が多くなってくる。県内でも数少ない庚申地藏である。



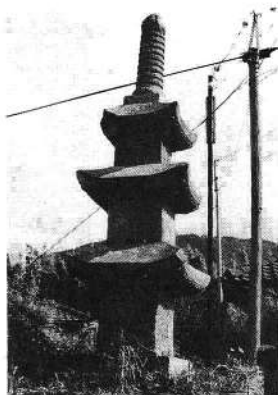
447 田の神像（立像型）	439 田の神像（立像型）
① 口輪野ゲートボール場南 ② 昭和七年（1937）四月十六日 ③ 高80センチ	① 鎮守尾橋右岸 ② （年銘なし） ③ 高72センチ
⑤ ④ 「口輪野 部落中」の刻字。 すばらしい笑顔が印象的。石工は田畑喜蔵という。	⑤ ④ 「石工 田畑喜蔵」の刻字。 メシゲ・ワンを持つ。 447 と作者は同じ。



450 馬頭観音碑（観世音菩薩）	448 山神碑（石祠）
① 口輪野千本松 ゲートボール場北100^{メートル} ② 明和三年□月吉日（1766） ③ 高72^{センチ}	① 内野々大山祇神社 ② 正保三年八月吉日（1646） ③ 高120^{センチ}
⑤ 「 観世音菩薩 □月吉日 （牛の絵を彫る） 」の刻字。 ④ 明和三年 □□村 新左衛門 ⑤ 口輪野という地名の「口輪」は「馬のくつわ」のこと で、庄内の乱の関連地名といわれる。 * 国分市内では最も古いバトカンサアである。	④ 「山神」の刻字。

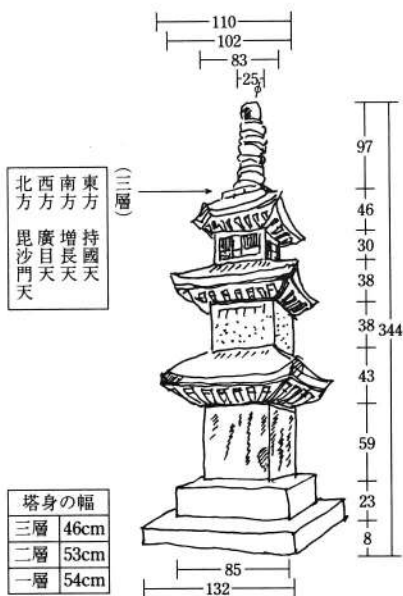


467 (伝) 条里制の基礎石 (自然石)	457 田の神像 (旅僧型)
① 下井579-4 初塩辰雄宅前 (県道沿い) ② (年銘不明) ③ 高125センチ 幅80センチ	① 下井1873 (東上新) 井手元正夫宅北30センチ ② 嘉永四年辛亥六月 (1851) ③ 高90センチ
④ (刻銘なし) *イボンカンサアールといわれる。	④ 「 奉建立 庄屋 市来助左衛門 金右衛門 金太郎 庄助 金太 」の刻字。 ⑤ メシゲを持つ。昭和十一年検校川はんらん、その後の 復旧工事後、現在地に移転。この付近の田んぼは嘉永四 年前後に開田されたのであろう。



452 三重塔

- ① 下井1-3 (西上新) 繁田ノリ子宅前
 ② (年銘なし推定・室町時代)
 ③ 高344^{センチ}



454

*二重塔 (近くの上新霊園にある) (写真はない)
 「□□永□居士」の刻字あり、二層の塔身には独特の文様あり。高さ一五五^{センチ}。

453

*隣の墓 (石祠) (写真はない)
 「□路□壽種上座」

元和七辛酉□月廿九日 (一六二二) の刻字

- ④ 三層笠石の露盤に四面 (東西南北) に「持國天・廣目天・増長天・毘沙門天」の文字がかすかに読める。
 ⑤ (伝) 立山丹後守の墓 (この一帯の開拓者という)。
 地元の人は塔墓 (トバカ) と呼び、これより上井城跡へ八間道路の直道 (スツミツ) が一三〇〇^{センチ}延びている。

*四十四家による塔墓講が行われていた。

452

三重塔の碑文。

此ノ墓地境内痛ク荒廢ノ東側ノ道路ニ
沿ヒタル一部ハ破壊シタルヲ以テ御伊
勢講中相謀リ東側ニ石垣ヲ築キ境内ニ
修理シタリ

立山仙□

豊廣万次郎

田之上□□

未滿武雄

山元伊兵衛

福満金之十

山元仁三次

柳田休之助

有満□右エ門

節ク田庄八

外松直助

同熊□□

未満金左エ門

田之上クマ次郎

堀之内 清

□□□□

外松満右エ門

山元仁三次

松元三四郎

堀之上□□

有満重雄

外松直助

田之上仲次

米満駈八

豊廣金藏

堀之内 清

奥園吉隆

堀之内休右エ門

大山休右エ門

松元三四郎

堀之内休右エ門

田畑□次郎

田之上仲次郎

堀之内休右エ門

田畑□次郎

田之上仲次郎

堀之内休右エ門

田畑□次郎

田之上仲次郎

堀之内休右エ門

田畑□次郎

田之上仲次郎

堀之内休右エ門

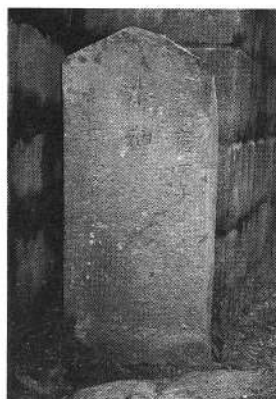
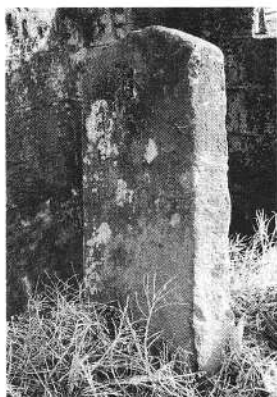
昭和九年六月十八日

修理委員

豊廣万次郎

有満重雄

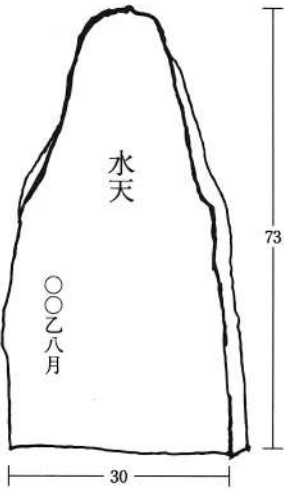
山元仁三次



461 水神碑	458 水神碑
① 下井3021 角園産業入口 瀬戸口商店より南へ ② 文久二年五月吉日 (1862) ③ 高70センチ 幅31センチ	① 下井1828-1 前村酒店の西100メートル ② 慶應四年辰 (1868) 五月二十八日
④ 「水神」の刻字。	④ 「水神」の刻字。

下井地区



466 水神碑（自然石）	462 石敢当
① 下井2098（花園上） 児玉俊朗宅の西 ② □□六月八日 ③ 高73センチ	① 下井3367 下井部消防詰所前 ② 明治元年辰（1866）十一月吉日 ③ 高62センチ 幅28センチ
④ 「水天」の刻字。 	⑤ ④ 「石敢当」の刻字。 黄色ペンキが塗られている。



471 石仏（観世音菩薩・首なし）	470 石仏（座像・首なし）
① 剣神社境内 ② 享保二十年乙卯（1735） 七月吉日 ③ 高53^{センチ}	① 敷根1357-7（門倉） 斜木隆雄宅向い ② 宝永四年丁亥（1707） 十月二十四日 ③ 高54^{センチ}
④ （裏） 「造刻大王神社本地 宮司覺遍四十七 今者十六之住」の刻字。	（表） 「大王神社本地 □□観世音菩薩」



478 田の神像（田の神舞型）	477 田の神像（田の神舞型）
① 門倉 ③ 高100^{センチ}	① 敷根504（赤川） 平原幸満宅隣 ③ 高80^{センチ}
⑤ お腹がふくれている。顔の表情がわからない。ハカマ姿で 右手にメシゲを持つ。 碑文 田神修理発起者 大□宗之助 田中庄三 駒□志農太 野□初男 植益虎一 持留仲吉 唐鎌齊 亀井貫 森田辻 島田嘉吉 鞍掛哲雄 太田市次	⑤ ④ （刻銘なし）。 足部が小さい。メシゲ・ワン・シキ・ハカマをつける。



486 町門 (二本)	485 庚申塔 (猿田彦神)	481 馬頭観音碑
① 敷根港入口に移設 ③ 高135センチ 直径29センチ	① 敷根1357 (門倉) 斜木隆雄宅向い ② (年銘不明) ③ 高53センチ	① 門倉坂 水源地の西 ② 昭和二年 (1927) 旧四月二日 ③ 高73センチ 幅23センチ
⑤ ④ (刻銘なし)。 上部は円形 下部は八角形。 昔は浦町の入口に立てられた。 同類は入来町秋葉神社の前に二本立っている。	⑤ ④ 「猿田彦命」の刻字。 路傍の神。十字路上にあり。	④ 「馬頭観音」の刻字。



492 石碑	491 石灯籠
① 高橋用水路の淵 ② 昭和53年 9 月	① 敷根小学校跡地に移設 ② 明治四拾壹年三月（1908） ③ 高380^{センチ}
④ 碑文 「敷根火薬製造所跡」の刻字。 文久三年（一八六三）薩摩藩は高橋川の水力を利用火薬製造所を設け明治二年これを軍務局の管理に移し明治四年これを政府におさめた。後民間が払い下げをうけ火薬は海軍省に納めた。十年戦役で焼失後は民間人が製粉所として使っていたことがある。土地の人はここを煙硝山倉庫の跡を煙硝小屋とよぶ。	⑤ 六角形の台座に常盤次助外多数の氏名が彫られている。移設前ではでんぶん工場の前にあった。 ④ 在米人 獻燈 建設の刻字。



439

494

496 田の神像 (田の神舞型)	494ほか 田の神像 (田の神舞型)
① 上之段2543 (朴木) 朴木登宅の東200[㍿] ② 明治二十年 (1887) 二月十三日 ③ 高72[㍿]_{センチ}	① 飯富神社の西 ⑤ ③ ② 493 田の神像 (神像型) 宝暦十三[㍿]_未 (一七六三) 三月吉日 高七〇[㍿]_{センチ} 後姿にエイをつける。両手でシャクを持つ。首は折れて別 のもので補充されている。 ⑤ メシゲ・ワンを持つ。 二才中 」の刻字。 ④ ③ ② 明治二十年 (一八八七) 正月十四日 高六四[㍿]_{センチ} 「大隅國曾於郡上之段村 富吉直助 常盤[㍿]_{〇〇}
④ 「御田神 大隅國上之段 有村平次郎」の刻字。 ⑤ メシゲ、ワンをもつ。	



499

497

498 地蔵（立像地藏菩薩）	497 保食神碑
① J A あいら上之段倉庫前 歩道橋の北 ② （年銘なし） ③ 高129センチ	① 飯富神社 ② 明治十八年九月（1885）
⑤ 路傍の交通安全の守り神であろうか。この付近の道路は古くから開け近世までの日州通道に当たる。錫杖を持つ。	④ 「保食神」の刻字。

499 記念碑

② 嘉永四年辛亥十一月十二日

④

「修遠祖傑叟府君招魂碑」の刻字。
碑文

修遠祖傑叟府君招魂碑

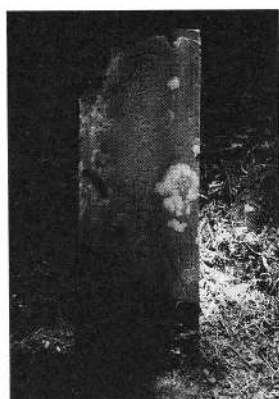
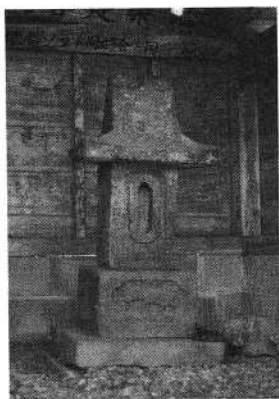
府君諱ハ武重隼人佐ト称ス其先紀姓平山ヨリ出ツ世□市成
ヲ以テ氏トス父諱ハ武住彌太左衛門尉ト称ス加世田ノ人
梅岳君ニ事ヘ小林ニ戦死ス武重移テ 貫明公ニ富ノ隈ニ事
ヘ田禄若干ヲ賜フ二子ヲ生長諱ハ武頭彌兵衛尉ト称ス次諱
ハ秀親月岑ト号ス即勝目吉弘ノ義子タリ後兄弟共ニ第宅ヲ
新城中ニ賜ヒ搦手口ヲ守ラシム慶長四年莊内叛ケル時 公
武重ヲシテ將ト為シ弟藤介武明等ヲ帥ヒ往テ渡瀬ヲ守ラシ
ム十一月十八日寂生ルト間キ戦□追テ馬曰□テ途ヨリ還ニ
十三日富隈ニ死ス年六十二才法号傑雙淨英居士ト家東ニ見
ユ今タ墓ヲ失フ久シ近頃川内野平ノ老農語レリ石ノ陣跡ヨ
リ敷根上之段ニ如ク路旁ニ尾立ト云フ叢林アリ昔シ渡瀬ノ
守干時隼人君命ヲ□シ其弟等扶持セラレシ所ニテ往来ノ人
為ニ蒙ヒシト言傳ヘ昔ヨリノ石ヲ建テ毎春ノ彼岸敷根ヨリ
祀シ今ハ否スト云ヘリ余聞テ祝ヒ且疑ヒ詣リ觀レハ□移数
□□□□□□□人下両三石アリ初シテ守ナシ唯一ツ南無阿
彌陀佛ト面ニ彫リ続ケテ世名九條院隼人寮ト見ヘ陰ニ刻ス
ルヲ按スレハ逝シヨリ百三年ニ當ル元禄辛巳ノ三月靈現レ
テ末原重次ニ夢ラセ地ヨリ出タル古塔ユヘ敬テ阿弥陀ト崇
メ九條院ト謚シ言傳タル隼人ノ名ヲ刻メ招魂ノ墓ニ似タ
リ左アレト称疑ヘレハ桑原白山ニ筮セシム日遇是之漸□ハ

重山上下ニ物□重久此先墓ナルヘシ□シテ風山漸トナル山
上樹木生スルニ漸ク蒙ナリ又将来ノ祀ヲ筮セシムルニ中孚
ノ吉兆ヲ得タリ是ニ於テ其裔胤等ト相俱ニ力ヲ戮セ碑ヲ其
□ニ建テ吾後人ヲシテ永ク此由ヲ知テ猶古擴ヲ尋ルノ便リ
トシ時々香華ヲ薦メ拝掃ニ怠ルヲ勿ラシムト云爾嘉永四年
辛亥十一月二十二日八代鹿孫市成武英謹誌

国分

七代 義孫市成武敬

八代 生孫勝目秀易



505 馬頭観音碑 (石祠)	500 庚申塔
① ゲートボール場西 ② 明治二十二年九月 ③ 高110^{センチ}	① 宮毘神社 ② 元禄七天甲戌十月 (1694) ③ 高65^{センチ}
⑤ 牛の絵が彫ってある。 * 石祠の横には石牛像(臥像) 親子が置いてある。 碑文 「金十銭 木村甚七 々十銭 山下助右衛門 々十銭 多持 々七銭 岩元藤次郎 々五銭 木束 々六銭 岩元仲八 々六銭 若松盛三 々十銭 山元藤右衛門 々六銭 池田助八 々一銭 福永仁左衛門」	⑤ ④ 「庚申公養」の刻字。 碑文 「寛政元酉年 奉奇進 多持屋 助左衛門」の刻字。



503 馬頭観音碑	502 保食神碑	501 田の神碑
① 永山大山祠神社 ② (年銘なし) ③ 高70センチ	① 永山大山祠神社 ③ 高73センチ	① 塚脇 堂田 (福山町との境) ② 明治十六年(1883) 三月吉日 ③ 高83センチ
⑤ ④ 「大日」の刻字。 牛の絵を彫る。502保食神と並んでいる。	⑤ ④ 「保食神社」の刻字。 馬の絵模様を彫る。	④ 「水神 田神」の刻字。 碑文 此両神ヲ設置セシハ則明治十有六年三月吉日ヲ以テ為也永久 恩恵傳而以テ奉尊崇者也 曾於郡麓村居住 樗木嘉兵衛

*さいごに

国分寺跡にある石造層塔は国分市の史的シンボルであるが、今回まとめるに当たって感じたことは、まず宇氣母智神・保食神、馬頭観音が多く明治期に盛んに建立されていることである。鳥居の建立が古くその時期を確認できたことは今後の鳥居の様式年代等の研究上大いに参考になるだろう。また、石敢當は県内で二番目に古いものが残されていた。石垣にはめ込まれているため、この石垣も元文年間に造られていることがわかり、清水麓のその当時の姿も浮かび上がってこよう。田の神さあはメシゲを持つがヤマイモを持った山神さあはさすがに見当たらなかった。ここに記録された石塔群は国分におけるほんの一部である。まだまだたくさん貴重な資料が各所に残されているはずである。場所によっては散乱したままのところもあり、復元、保存を望んでやまない。紙面の都合で写真等割愛したものも多数あった。後日発表の機会を待ちたい。

さいごに、この石塔編は今亡き本田潔先生作成のもの

のが底本になっており、事務局、肥後宏係長、前小原親英係長のご助力をいただき、随時に編さん専門委員の方々、下野敏見教授、その他多くの方々のご指導を受けて出来上がったものである。また、調査に際しては現地で親切なるご協力をいただいた。ここに改めて心から感謝申し上げる。

(松田 誠)

参考文献

- 『隼人町の石造文化財』隼人町教育委員会
- 『石仏研究ハンドブック』庚申懇話会 雄山閣
- 『歴史散歩事典』山川出版社
- 『日本石仏事典』庚申懇話会 雄山閣
- 『鹿児島大百科事典』南日本新聞社
- 『隼人町郷土誌』
- 『川内市史』石塔編
- 『千台』第23号
- 『石の鹿児島』平田信芳著
- 『田の神』黎明館発行
- 『国分の石碑』平田信芳調査